

最終レポート

わたしならこう考える

「常滑市の図書館のあり方」

図書館
市民ワークショップ

「変わる、変われる！」

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- ・「新築以外」
- ・「①テナント入居」または「②既存2施設のリニューアル（※既存3施設中、こども図書室を除いた）」
- ・場所は①、②共、必然的に決まつてくる為、場所の検討は不要（①は貸主の立地に依存するため）

理由

財政的に新築は財政ひっ迫による市民サービスの低下、延いては市の財政破綻へ繋がる為反対。

今が良ければよいというのは次世代、次々世代に対して無責任である。

一方で、市長、市民の想いとして、新しい図書館を望んでいることを両立させようと思うと、①または②の案が折衷案ではないかと考えています。

①についてはこれまでの資料にある通り、費用、維持、管理としてメリットが多い。WSで挙がった市民からの要望を盛り込むことの出来る数、項目に制限はあるが、理想と現実は異なる為、致し方無いと受け入れることも大切。

②については、①が相手ありきの為、実現困難な場合、想いを別の形で実現するにはこれかと思い提案。

既存2施設（※既存3施設中、こども図書室を除いた）については、視察先等を参考に改善、改良、応用など出来ることが沢山あると感じています。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

テナント次第、または現在の既存3施設の範囲維持。
テナントで希望が通る場合、富津市事例程度。

既存の3施設をどうする

テナント入居の場合、こども図書室は残し、残り2施設は廃止。
常滑市の広さから考えると、どこにテナントが決まろうと利便性を満たせない地域が出てくる為、テナント入居プラス3施設の運営が良いと思うが、財政、ランニングコストを考えると、廃止も英断すべき。

こども図書室については、常滑市の存続という観点から、将来を担う次世代、次々世代へのサービスを残すことが優先だと考えている為。

また、既存2施設の中、高、大学生の自習等での利用については、絶対数から考えるとやむなし。テナント入居先での自習環境整備でフォロー。中・高齢者については贅沢を言わず我慢できる様、心に余裕をもって欲しい。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

身の丈に合った機能、範囲であれば、要望無し。

視察先等、近々（※例えは直近〇年等で絞る）で新設、リニューアル等した全国の図書館の機能をリストアップし、利用頻度、費用対効果などから機械的、統計的に選択すればよいと考えています。

常滑にしかない機能というものは、余程バズらない限りは費用対効果が低い為、望まない。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物	★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
Ⓑ快適な読書・居場所空間	★★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆
ⒸＩＣＴなどの設備の整備	★★★★★☆☆☆☆☆☆
Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス	★★★★★★★☆☆☆☆
Ⓔ図書資料の充実	★★★☆☆☆☆☆☆☆☆
Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実	★★★★★☆☆☆☆☆☆
Ⓖ学校図書館や保育園との連携	★★★★★☆☆☆☆☆☆
Ⓗカフェや飲食スペースの充実	★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実	★★★★★☆☆☆☆☆☆
Ⓛイベントスペースなどの充実	★★★★★☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

現在の図書館利用者は、結局どこでどのようにになっても行くと考えている為、新規利用者のことを考えて必要な項目について重要度を高く配分している。

建物、快適空間、カフェは財政的に豊かな場合の選択肢ではないかと思い、重要度低。資料の数（蔵書数）についても多いから来場者が増えるとは考えていない。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

個人的には、新しい図書館をどうするかというテーマより、新しかろうが古かろうが人が図書館に足を運ぶには？の方に興味を持つようになりました。

図書館に足を運ぶだけの価値、メリットの創出として、コストを（なるべく）掛けない市民参加型のイベント、講座、教室、学習支援、育児支援などがあるのも面白いと思います。

市民の中には土業などの有資格者だけでなく、就労、家庭環境での経験など資格などが無くとも教えられる、語れる人がいると思います。

また、資格取得の後押しとして講座までではなくても同士、有志の集いの様なイベントがあっても良いと思います。

今回のワークショップの様に、答え、結論を出さない、出ないというイベント、企画でも、人が集まり、共感し、参加者にとって何かしらプラスがあり、またその扱った話題についての蔵書の紹介へと結びつける流れが、図書館に行く、利用するに繋がればよいサイクルが生まれる可能性があります。

（※無償、または無償に近くても運営、企画側として協力してくれる心に（経済的にも？）ゆとりのある人の協力が不可欠ではありますが、、、）

「図書館の利用」が住民の現在における直接的な利益だけでなく、将来的な利益（例えば、若者の就労支援など）もあれば、高齢化比率の低下にも繋がると思います。

「図書館がある自治体」ではなく「図書館を利用するが根付いた自治体、常滑市」の様になることで、移住者、帰省者などが増え、人口増加⇒財政安定化⇒住民サービスの向上の様な良い流れのきっかけになることを望んでいます。

新図書館について、早急に決定する必要はないと考えています。

時間を掛けてでも、財政と要望のバランスの整った新図書館について動いて欲しいです。財政の見直し（収支バランス）も時間が掛かります。それまでは既存の図書館の有効活用や新築の前段階としてのテナント入居など、将来のことをある程度見据えてフレキシブルに対応できる選択肢でも良いと思います。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

「変わる、変われる！」

キャッチフレーズに込めた思い

図書館、常滑市、老若男女問わず市民、変るし、変われる。

変化することを強く望まないのが人間であり、日本人であり、行政であるというイメージがあります。

しかし、本質的には変わることができます。

変わることはエネルギーや犠牲が必要でもあります、まずは「変わる」という心持が大事だと思います。

その心持が難しいということも重々承知しています。

その時に、「変われるんだよ」と後押しされると難しさが少し軽減されるのもやはり事実です。

自身の心持である「変わる」だけでなく、誰かの支えになる「変われる」という言葉の組合せが、自他ともに鼓舞する感じ、前向きなイメージがして良いと感じたことと、新設後も刻々と変る社会情勢などに対して、図書館も常滑市も人も対応していくぞ、できるんだぞという、先を見据えた、応用のきくキャッチフレーズだと使いやすいと思いこれにしました。

つながる図書館、どこでも図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- ・イオンモール常滑などの入れるテナントを探して入居する方法がいいと思います。
- ・「箱物」を建設するための費用をできる限り少なくて、本の購入や貸し出しや返却などのICT化、電子書籍の購入や運用など、運営費にお金を使ってほしい。
- ・本の購入もむやみに揃えるのではなく、知多半島5市5町の図書館と連携して、ネットワークを構築し、例えば、半田図書館にある本は、常滑の図書館にある端末やスマホを操作することで、予約したり、借りることができますようにして、半田市から常滑市に運搬する経費などを運営費から捻出することで、半田から常滑まで運んで、例えばイオンモール常滑の窓口で借りることができますようにする。（この考え方には、他の市町の同意が必要だが、ネットワーク構築に常滑市がイニシアティブをとり、費用もある程度負担する覚悟なら、同意を求めるることは可能と考える）
- ・上記の考えは「新しい図書館をつくる」ことを念頭においた今回の図書館ワークショップでは、なかなか話題にすることはできなかったが、財政を圧迫して建設しても、今後の大幅な人口増加や企業誘致が望めない本市では、身の丈に合った考え方だと思う。

理由

- ①新設することと比較して、財政面で有利である。（その分運営費にお金をかけることができる）
- ②駐車場が確保されている。
- ③トイレ、照明、空調等設備面を流用できる部分が多い。
- ④名鉄りんくう常滑駅、各種バスの発着場があり、交通の便がよい。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？ また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

- ・他の市町との連携、ネットワークが実現すれば、図書館の規模は、旧本館並みあるいはそれ以下でもよい。
- ・電子書籍を充実させれば、自宅に居ながら本の貸出や返却が可能である。

既存の3施設をどうする

常滑地区の図書館として、イオンモール常滑に、旧本館並みにつくるとすれば、青海は北部地区、南陵は南部地区の貸出窓口として可能な限り残し、こども図書室も現状を維持し、需要が少なくなれば、貸出窓口として活用する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・例えば、イオンモール常滑では、買い物も食事も休憩もでき、車でもバスでも電車でも来ることができるので、そこに図書館ができれば、それが図書館の形にもなるのではないか。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

- ・上記の各市町とのネットワークなどが構築されることで、「ＩＣＴなどの設備の整備」「図書資料の充実」「学校図書館や保育園との連携」が可能となる。「カフェや飲食スペースの充実」はもともとショッピングモールであり、「展示やイベントなど図書館サービス」も可能である。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- ・上記した各市町の図書館との密接な連携による図書資料の交換による貸出、運搬が可能となることと、電子書籍の充実により、図書館の形態や考え方方が大きく変わるのでないか。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

つながる図書館、どこでも図書館などがいいと思います。

キャッチフレーズに込めた思い

自分が一番過ごしやすい場所や、本や雑誌などを読みたい場所(例えば、自宅の居間、庭、公園、ショッピングモールのソファ、学校の教室、病院の病室、りんくうビーチなどどこでも)が、すべて図書館になる。

とこなめアカデミア（トコアカ）

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- a. 市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築
- b. 青海本館を改築（リノベーション）

理由

- a. 常滑駅や大型商業施設に比較的近く、十分な広さが確保できる市有地③は利便性が高いです。さらに、海に近く景観も良いため、観光や市外からの来訪者も幅広く見込めます。
- b. 既存施設を活用することで初期投資を抑えることができ、駐車場などの周辺整備も問題なく進められるのではないかと感じました。また、現在工事中の高速道路が完成すれば、車や人の流れも変化し、そこに魅力的な図書館が整備できれば市街地から離れていても多くの来館者が期待できると思います。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

常滑市が新たな図書館を整備するにあたり、まず念頭に置くべきは本市の財政状況です。近年、自治体の財政は多様な分野への支出が求められる中で、慎重かつ合理的な投資判断が必要とされています。大規模で華美な図書館の新築は市民サービスの向上につながる一方、イニシャルコストや維持管理費、将来的な運営費用も多大であり、財政に大きな負担となりかねません。そのため、身の丈に合った図書館規模の設定が重要であり、視察対象であった江南市図書館と同レベルの規模をひとつの現実的な基準とする考え方には大いに賛同できます。

江南市図書館は、必要十分な蔵書数と多様な利用者層が快適に過ごせる空間を有し、地域住民に親しまれています。常滑市でも、無理のない範囲で、誰もが使いやすく、必要な本や情報が効率よく手に入る図書館の実現を目指すべきです。そのためには、従来の「大きさ」や「蔵書量」だけを追求するのではなく、時代の変化と市民ニーズの多様化に即した柔軟な発想が求められます。

特に注目したいのは、先日のワークショップ内の発表でも話題に上りましたが、図書館資料のデジタル化に力を入れることです。デジタル化を推進することで、物理的な蔵書スペースを圧縮できるだけでなく、利用者が自宅や出先からも電子資料にアクセスできるなど、利便性の大幅な向上が期待できます。それは、次の質問にも出てくる既存図書施設の統合にも寄与できると考えています。また、貴重書や地域資料などもデジタルアーカイブ化することで保存性が高まり、次世代への継承もより確実なものとなります。

こうしたデジタル資料の拡充に合わせて、物理的な空間は、多目的に使えるコンパクトな設計とすることが有効です。例えば、静かな学習室やグループワークができる小規模な会議スペース、カフェやラウンジといったリラックスできるエリア、さらには小規模でも魅力的な展示コーナーや地域交流スペースを設けることで、多様な世代・目的の利用を促進できます。電子書籍端末やパソコンの貸出、Wi-Fi環境の整備など、ICTインフラの充実も欠かせません。これにより、市民は物理的な蔵書に縛られることなく、幅広い知識や情報にアクセスできるようになります。

さらに、バリアフリー化や段差の解消、小さなお子さんから高齢の方まで誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した空間づくりも重要です。イベントやワークショップ開催に対応できる多目的ホールや、地域の産業・歴史・文化を発信する常設展示を組み合わせることで、図書館が単なる「本を読む場所」から「学び・交流・地域発信の拠点」へと進化します。

今後の人口減少やライフスタイル変化にも柔軟に対応できるよう、可動式の家具や間仕切りを活用したフレキシブルな空間設計も有効です。省エネルギー設備や自然採光の積極的な導入による環境負荷の低減など、持続可能性にも配慮した運営体制を整えることで、将来的な財政負担の軽減も図れます。

総じて、常滑市の財政状況を踏まえれば、江南市図書館と同規模程度の合理的かつコンパクトな図書館が身の丈に合った選択肢であると考えます。しかし、その中でもデジタル化や多目的空間の工夫、ICTインフラの整備などによって「小さくても魅力的で多機能な」図書館の実現は十分可能です。限られた財源を最大限に活かし、市民一人ひとりにとって真に価値ある学びと交流の場となるよう、新図書館の計画・設計を進めていくことが必要と感じました。

既存の3施設をどうする

既存の3施設（青海・南陵・こども図書室）の取り扱いについては、新しい図書館の設置を前提に、資源の有効活用と市民サービスの向上という観点から最適な方策を考える必要があります。

まず、青海本館と南陵本館については、老朽化や設備の制約、運営コストの問題などを踏まえ、原則として廃止し、機能を新しい図書館へ集約することが望ましいと考えます。これにより、限られた人的・財政的資源を分散させることなく、一つの拠点に集中させることで、より充実したサービスや快適な空間が実現できると考えます。

一方、こども図書室については、現状のまま存続させることも選択肢のひとつです。児童書や絵本の蔵書を中心に新しい図書館との役割分担を明確化し、例えば未就学児や低学年向けのイベントや読書活動はこども図書室で開催するなど、ターゲット層に応じたサービスの充実を図ることが考えられます。また、市役所に併設されている利便性を活かし、返却場所としても利用できるよう工夫すれば、市民の利便性向上につながります。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・運営費削減の観点からも自動貸出機・座席予約システム等のシステム整備は必須
- ・多くの人が滞在できるように広い閲覧スペース（ソファ、ベンチ、学習室、等）
- ・市外からの来館者増を見込める魅力的なスポット（オープンデッキ、カフェ、体験施設）

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓘ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

限られた資源の中で新しい図書館を整備するにあたっては、何よりも利用者が本当に必要とする機能やサービスに重点的に力を入れることが重要だと強く感じました。すべての項目を一様に充実させるのは現実的には難しいため、まずは来館者がどのような体験を求めているのか、地域にとってどんな図書館がふさわしいのかを十分に検討し、資源配分を工夫する必要があると考えます。

たとえば、運営費の削減という観点から見ても、自動貸出機や座席予約システムといった利便性の高いシステムの導入は必須です。これらの導入により、職員の業務負担を減らすだけでなく、来館者自身が自由にサービスを利用できる環境を整えることができます。また、多くの人が快適に過ごせるように、広々とした閲覧スペースや学習室、リラックスできるソファやベンチの設置も大切です。こうした空間づくりによって、単に本を借りるだけでなく、長時間滞在できる居心地の良い場としての価値も高まります。

さらに、市外からの来館者を呼び込むためには、他にはない魅力的なスポットを設けることが必要です。たとえば、開放感あふれるオープンデッキや、地域と連携したカフェ、子どもから大人まで楽しめる体験型施設などを設けることで、図書館の新たな魅力を創出できます。これらの取り組みは、単なる図書の貸出や閲覧にとどまらず、まちの交流拠点・学びの拠点として、図書館の役割を広げるものです。

今回、星の数（重要度）を振り分ける際には、欲しい機能に資源を集中投下するという「メリハリ」を意識しました。幅広く機能を持たせるよりも、利用者が本当に必要とし、日常的に活用できるサービスに集中して力を入れることで、結果として図書館の価値や来館者数の増加につながると考えたからです。いかに限られた予算と資源を最大限活用し、魅力的な図書館を実現するかが今後の鍵になると強く実感しました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

今回のワークショップを通じて、参加者の皆さん、そして私自身も、図書館建設に対して非常に前向きで熱意あふれる議論が行われたことに驚かされました。与えられるものではなく、自分たちで関わり、作り上げていくことで、熱量や思い入れが格段に高まることを改めて実感しました。市民の皆さんと同じような気持ちになれば、ボランティア参加やイベントの企画など、多様な意見やアイデアがより多く集まるはずです。図書館が完成した後も、市民参加型の運営委員会（？）のような仕組みがあれば、イベントの企画や検討を継続的に行い、魅力的な図書館運営が実現できると思います。ＩＣＴも必要ですが「人の力」は更に必要と感じました。

質問⑥ 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

①とこなめアカデミア（トコアカ） ②ビブリオとこなめ（ビブトコ）

キャッチフレーズに込めた思い

語感の良さを重視し、市民が親しみを持ちやすく、愛される存在となるような図書館にしたいという思いを込めています。

日本一笑顔があふれている図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地③（旧常滑市民病院跡地）が良いと思う。

理由

海には近いが、駐車場を広く取れる。スーパー等に行ったついでに寄ることもできる。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より小さくてもよい。

既存の3施設をどうする

そのまま維持する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

電子ブックをたくさん買えば、書庫スペースは少なくてすむ。新刊書を増やし、古い本は相互貸借を大いに利用する。
椅子をたくさん備える。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

図書館と言えば、蔵書数でしょう。
来館時にリラックスして本が選べる空間が欲しい。
あと、電子ブックの充実で、家に居ても読書できる環境が整えられたら良いと思う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

本のことをよく知っている司書がいること。職員はいつも笑顔の人が良いです。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

日本一笑顔があふれている図書館

キャッチフレーズに込めた思い

笑顔0円。お金もからないし。

知と文化のハブステーション

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

入れるテナントを探して(イオン)、入居する方法がよいと思います。

理由

賃料や契約条件の制約などの課題もありますが、何しろ新しいスタイルである。

アクセス性は抜群：買い物ついでに立ち寄れる。

初期費用の抑制：既存施設の改装で済む。

集客効果：図書館がイオンモールの魅力を高める。

開館時間の柔軟性：夜間や休日も利用可能。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

富津市ぐらいの規模がよい。

既存の3施設をどうする

青海と南陵は、分散移転前の規模に戻し、こども図書室は廃止する。

青海と南陵のこども図書コーナーを充実させる。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ただ本を借りる場所から進化して、地域の知的・文化的ハブとしての役割を担うような図書館を希望。

- | | |
|--------------|--|
| 学びと交流の機能 | ：学習支援スペース、市民講座、ワークショップ。 |
| 地域・多世代交流の機能 | ：子育て支援コーナー(読み聞かせ、絵本、親子イベント)。高齢者向けサービス(介助スタッフ)。 |
| デジタル・行政連携の機能 | ：マイナンバーカード連携(図書カード不要)、行政情報の発信拠点(地域の政策やイベント情報を発信する掲示、相談窓口)。 |
| 文化・創造機能 | ：地元のアーティストや学生の作品展、イベントホール。 |

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

商業施設に入ることを前提に考えた。いろんな面で、新しいスタイルになるかと思う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

学校図書館との連携や支援(ほかに保育園、児童館も含めて)

司書の派遣 : 読書指導や蔵書選定を支援。(先生向け、子ども向け)
読書イベントの共催 : 読書週間やブックトークなど連携して実施。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

知と文化のハブステーション

知の羅針盤

まちの知的交差点

キャッチフレーズに込めた思い

本は知の宝庫。

ハブは中心とか拠点。

ステーションは、人が集まり、出会い、旅立つ場所。

図書館が地域社会の中心として、知と文化の出発点になることを願っています。

まねき図書

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地③(旧常滑市民病院跡地：鯉江本町4-1-1)に新築。
海が見える図書館として、駅近でよいと思います。

理由

場所は、常滑駅からのアクセスがよく、市有地なので取得の問題がない、災害時のリスクも他の候補市有地より低そうということから選びました。

方法については、前回までの私の考えは、ハードは現行公民館の内装リフォーム程度に済まし、蔵書等のソフト充実にお金をかけるべきと思っていましたが、今回、やはり新しい図書館が欲しいという意見が他グループで発表されていましたので、それに合わせた形で考えました。目標があれば、どうすれば実現できるかを考えるでしょうから、予算は「為せば成る」で知恵を絞ってください。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

新しく整備する図書館は、2,000m²くらい。

三協フロンティアのユニットハウスのようなもので作れば早く建築できるそうです。

規模が違いますが、取引先事務所は、打ち合わせ開始から3ヶ月で完成。12ユニット2,000万円だったらしいです。

既存の3施設をどうする

既存の3施設は基本廃止。

青海本館の閉架図書は、新館の面積が不足するなら活用する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・カフェ不要。コーヒースタンド程度の規模と自販機
- ・読書、学習スペースは、シンプルなカフェのようなおしゃれさ
- ・多くの一人席
- ・ワークショップ、イベント利用ができるスペース
- ・新刊などに限定してＩＣタグ化。予約本セルフ受取端末だけ設置で小規模導入
- ・電子書籍
- ・ゆったりスペースの駐車場

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

居心地のよい場所、学びの場所となるよう、関連項目に星5以上をつけました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- ・常滑縁の作家・陶芸家・著名人、セントレアを訪れた著名人、市民のおすすめ本紹介
- ・陶器に関連するテーマ本特集と展示・体験（陶器、食、盆栽、生花、茶等）
※駐車場など屋外スペースでも良い
- ・常滑急須で入れるお茶、コーヒーをスタンドで提供
- ・本を借りて、関連イベント参加、レビュー投稿等で地域クーポンゲット
- ・病院、公民館、学校などで予約本を受取、一部ブックポスト返却できる
- ・県外、海外からの旅行者に、常滑文化関連の電子書籍開放
- ・スポンサー付き外国語の本、絵本、漫画コーナー（トコナメ国際交流コーナー）
- ・スポンサー付き雑誌コーナー
- ・大口寄付顕彰として、陶板ウォールを設置し、観光客の見所にもする
- ・小口寄付顕彰として、書架、椅子、机などにネームプレート
- ・市長さんが変わると、図書館のことはどうなるか分かりませんので、早く実行しましょう。上述のユニットハウスなら、打ち合わせ開始から3ヶ月程度で完成するそうです。現地組立は1日。内装に1週間（事務所の場合）。図書館は最大級事例だと思いますので、ある意味注目されるのではないかでしょうか。
将来、事情が変われば移築、再利用が簡単という特長もあるそうです。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

まねき図書

キャッチフレーズに込めた思い

人と本と出会いを招く場所。「招き猫の街・常滑」と「人が集う図書館」を重ねました。

☆とこなめルネッサンス 本と人、人と人の出会い図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

「常滑高校跡地」に「新築」整備する。

理由

市民が将来に渡って、新しい図書館に愛着と誇りを持てる魅力的な施設とするには、「新築」が財政的な負担が大きいとしても一番良いと思います。

新聞報道によりますと、常滑高校跡地に、県は、2030年度の完成を目指し「県美術館、陶磁美術館、県芸大の美術品収蔵庫」を計画し、作品展示も考えているとのこと。まだ候補地であり、決まったとしても県と交渉する、と言う高いハードルがありますが、周辺に「INAXライブミュージアム」や「とこなめ陶の森」「やきものの散歩道」があり、実現すれば魅力的な賑わいのある常滑の文化エリアとなります。また県と共同で取り組めば経費節減につながることにもなり、ここは市の中央部に位置し高台でもあります。

※土地については「県からの無償貸与」という形がとれないだろうか？

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

前市長がよく言っていた「身の丈に合った」常滑市の図書館は、人口や財政力から旧本館と同程度の規模が適当と考えます。

既存の3施設をどうする

南北に長い市なので、拠点施設は多いほどよく、当面、既存の青海、南陵、こども図書室はそのまま活かす必要があると考えます。

※もし青海・南陵を閉鎖するのであれば「移動図書館」を復活させる必要があります。ただ、新しい図書館の開館後の私案として

①地域の集まりや地域住民の文化活動、避難所として今後も両公民館は必要ですが、南陵・青海とも建設後40年ほどを経過し建て替えの時期に入ります。新設の図書館を「生涯学習施設」と位置づけ、講座・教室等の企画立案・実施をここで行い、その分、新しい南陵・青海公民館は規模を縮小しつつ、現在貸館（貸し部屋）化している利用の拡大を図ったらどうでしょう。

②公民館の規模縮小のため、青海・南陵に分散移転された資料（特に閉架・参考資料・郷土資料）は、新しい図書館に戻す。

③市中央部に新しい図書館が整備された場合、こども図書室を移設し、市役所庁舎内にあり病院も近いので、行政や議会資料、福祉関係資料、健康や病気の資料を置き、福祉や医療の相談窓口をここに開設したらどうでしょう。また、新図書館の開館に合わせて移動図書館を稼働させる場合には、基地を市役所に設けて一括車両管理し、移動図書館用の本をここに所蔵することが出来ると思います。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

図書館が市民に親しまれる施設になっているかどうかの指標は「貸出冊数」だけではなく、「入館者数」も重要な要素であると考えますので、人が集まる機能を有しているかどうかが重要だと思います。

その意味から50人～80人程度収容規模の多目的ホールや会議室は必須であると思います。ＩＣＴシステムについては、日進月歩であり費用負担が大きいので、貸出・返却、検索利用に留めるべきだと思います。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

パソコンやスマホにより個人が家庭に居ながらにして読書や調べもの、音楽や映像媒体の入手が可能になる時代に変化してきました。これからの図書館は、家庭では得ることができないことに重きを置くべきかと思います。快適な読書・居場所空間の提供、市民が集い楽しむ場の提供などがこれにあたります。

また、図書館は「新しい本があってなんぼ」だと思いますので、資料（本）購入費に予算を第一に充てるべき、と考えます。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- 1) 新図書館建設（整備）計画を早期に作成・発表し、その発表年から、企業版や個人の「ふるさと納税」の使用目途に「新図書館建設費」を入れ、全国的にPRして寄付を募つたらどうでしょう。
- 2) 魅力的な図書館を建設・運営していくための最も重要な要素一つは「人」であると思います。「計画」が定まり「設計」の段階から、図書館についての見識と経験、そして熱意のある方を外部からリクルートして市に迎えたらどうでしょう。
- 3) 読書のバリアフリー化（今後は特に高齢者への）を目指したサービスを充実させる必要があると思います。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

☆とこなめルネッサンス 本と人、人と人の出会い図書館

キャッチフレーズに込めた思い

図書館本来のサービス（図書の貸し出し、レファレンス等）以外に、市民が、書架を巡りながら自ら学び、読書会や講座に参加したり、地域の課題を持ち寄ったりして、世代間や地域の人とのつながりを深める場所（家庭や職場・学校でもない第3の場所）としての図書館が将来あるべき姿だと考えます。このことは、市にとって一番重要な人を育て、市民の自主的な街づくりへの気持ちを醸成し、常滑という街の「文芸復興」にもなると思います。

ライブラリーとここにやん

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

人の流れ集まりが良いと思う 常滑駅から常滑イオン辺りが適していると考えます。建物は新規が良いに決まってましが土地・資金を考えると既存の建物活用 当然 補強改装資金は必要ですが新規より安く済むと思い 今使用されてないガラス張りの競艇場建物を活用したい。

理由

3階には図書室 またテーブル付きの椅子が沢山あり間引きしても充分 学習やプライベートスペースを確保できる。2階は子供図書室や多目的室・イベントスペース・展示室など 1階は晴れ雨関係なしの遊び飲食できるスペースで人が集い ゆったりできる空間があり 土日祝日に開店できるお店も誘致できるスペースもあり良い条件が揃っていると思います。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

建物内の空間を利用し 色々なスペースをゆったりしたものを考えると常滑イオンスタイルぐらい。

既存の3施設をどうする

市の南北の人口は減少 常滑から市役所付近に集中すると思われるし また施設維持費を考えると集約しサービスの向上にあてる。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

図書室は図書室（古典的シックなつくりな物）・子ども図書室・自習室・多目的ホールや飲食スペースなどベビーカーや車椅子の方が普通に移動できるつくり。トイレは綺麗なつくり 市役所以外の市の施設トイレは？
ＩＣＴは後で市に余裕でたら導入。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

今流行りの図書館施設に最低限必要と考えた重要度。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

今 市が持っている活用予定目処のない土地を売却し財源にあてる。

施設内装は土管やタイルの焼き物を多用し常滑らしさを演出し市外の方も この建物施設に足を運んでもらう。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

ライブラリーとこにゃん

キャッチフレーズに込めた思い

常滑のイメージキャラクターのひとつ とこにゃんが 寝転がり上を向き本を読んでいるシールをつくりたかった

図書館で文化芸術にふれ豊かな人生を

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で
市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築

理由

中心市街地に近く、人がたくさん来やすい。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市や大府市と同規模が良い。延べ床面積3,000平方メートル程度、閲覧室はワンフロアがよい。

既存の3施設をどうする

廃止し新しい図書館に資料を集約する。返却や予約受取は取り次ぐ。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

多くの市民が利用したくなるような仕掛けが必要。ＩＣＴを導入し省力化を図る。多目的室を整備して展示やイベントを行う。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

利用者が長時間滞在できる施設であるため、資料の充実と快適な空間を整備する。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

資料面、サービス面、ともに1館に集約した方が効果的。美術館、博物館的な展示、イベントの開催(実物やVR)

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

図書館で文化芸術にふれ豊かな人生を

キャッチフレーズに込めた思い

地方でも様々なメディアを使って文化芸術を体感できるのが図書館です。

ようこそ、旅する招き図書館へ！

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- ・常滑市体育館辺りの市有地の残りと近隣土地取得
- ・常滑中学辺りの市有地利用
- ・市役所、消防署辺りの公共施設集中地での空き地取得
- ・JA本館辺りの市街地の土地取得
- ・前山ダム公園北の展望台がある敷地が市有地なら、そこを利用

理由

図書館好きをワークショップに集めた以上、図書館への期待は並外れています。色々な図書館も観ています。規模の小さい図書館なんて希望していません。
広い土地を確保出来る場所が優先。
前山ダム公園北は少し住宅からは離れますが、海も鈴鹿の山々も、岐阜の御嶽山も見えるそうです。いいかもしない！

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

- ・希望は小牧くらい
- ・五島市図書館の地域を活かした規模
- ・盛岡市図書館、江南市図書館は図書館らしい規模

既存の3施設をどうする

市役所のこども図書室は『ついでに』利用出来る立地でもあるため新図書館設立まで残し、あとは新図書館の設立の為に思い切って廃止。
少しでも予算を新図書館へ。
シンボル的、市民がみんな行きたくなる新図書館の為に思い切って全て集約を！

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・カフェではなくコンビニ参入
- ・飲食可のラウンジ的スペース
- ・学習室、キッズスペースは可能な限り広めに&近くにトイレ
- ・1階にコミュニティ、カルチャースクール等使用の自由室、高齢者が集いやすいスペース
- ・2階に郵便局窓口、子育て支援窓口、子供向け図書&フリースペース
- ・I Cタグ、自動貸出し返却システム
- ・予約本の自動貸出し
- ・館内ロッカー
- ・いざれ必要に応じて移動図書館
- ・スポンサー付き雑誌導入
- ・サイレントルーム、個人ブース
- ・バックヤードの充実
- ・ミニシアター、小規模ホール(イベントや読み聞かせ部屋としても使用)
- ・図書館以外にも返却BOX(駅やイオンなど)
- ・電子書籍導入

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

前述しましたが、常滑に誇らしい図書館を！と期待を胸に参加しただけに、『予算が無い、財政難』と聞かされた上で、安城や小牧を見せられては酷過ぎます。最初から土地、建物の規模はこれです！これらの機能から取り入れたい優先機能はどれですか？他にありますか？くらいの外枠があれば、その中で出来る知恵を出し合う事で治つたかもしれません。

個人的には正直なところ、立派な市民の夢が詰まった図書館を建てる予算が確保出来るまで、無いまま我慢したって構わないと思っています。

実際、図書館好きは他地区の図書館へ行ったりしてるのでありますから。

それでも今、進めて行くのなら、誰もが『素敵！』と思う外観・インパクトは欲しいです。

あとは、この時代、最低限これの充実なくして図書館はあり得ないだろうというものを平等に上位へ挙げました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- ・カフェは維持も大変と聞きました。病院のようにコンビニが入った方が、公共料金支払いや、ついての買い物も出来、利用者も年齢層関係なくあると思う。どの時間向けにも、どのジャンルも食べ物があること、被災時にもメリットがあると思います。
- ・ネコ繋がりでジブリと共同運営とか、LIXIL所有地に建設し、ネーミングライツもありかと。
- ・多額の寄付をしてくれた人には施設内に記念植樹や、土管に名前を入れてアプローチに並べるなど。
- ・作家さんの寄付を募り、建物の内外装、外庭などに配置し、フォトスポットにも。
- ・テラスにLIXILの便座型ベンチ設置
- ・館内の壺庭に常滑焼きの世界観(作家さん達にお任せ)
- ・地元の土産・特産品の物販(場所代を少し頂きます)
- ・市民参画→市民内外問わず、企業やショップ、個人開催の市民定期講座。ボランティアも有料もあり。
- ・図書館がシンボル的なネーミングやキャラクターが出来たら、観光化してグッズ販売あり
- ・ふるさと納税、クラファン、遺贈・寄贈、スポンサー交渉などで予算確保
- ・常設募金箱設置
- ・新設図書館の為の税金を数十円でも100円でも増やす
- ・ボランティアスタッフを募り、清掃や環境整備をしてもらう
- ・SNS発信
- ・図書館直結グルーン増便

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

①ようこそ、旅する招き図書館へ！②さあ、常滑さんぽに図書館から出かけよう！

キャッチフレーズに込めた思い

セントレアあり、焼き物散歩道あり、レトロな大野、鈴渓の郷エリアあり、伊勢湾を眺めて旅する気持ちで、図書館からノスタルジックな気分も味わって貰えたらと思いました。

知のかたち、未来をつくる。

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

中央図書館として青海地区と南陵地区の南北のほぼ中央に新築したい。
建設場所は市有地のみでなく、民間の土地を購入してでも南北の市民からも便利な場所にしたい。

理由

青海地区と南陵地区とはかなり距離があるので中央の位置に建設したい。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

維持管理などに相当の費用がかかるので、人口や財政などの身の丈に合った規模で良い。
青海・南陵・こども図書室・中央との連携を十分に活用する。

既存の3施設をどうする

青海・南陵・こども図書室・中央との連携を良くして、ICタグなどの図書利用機能を改善することが必須です。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

将来に渡って利用できる I C T 設備が必須です。

図書館の色々な世代に対しての豊富な企画やイベントや図書案内が必要です。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- Ⓒ I C Tなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

I C T 設備は現在の図書館利用でも必須な条件で、新築の図書館の建設を待たなくとも、予算化して実現したい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

図書館機能は最小限にして、小イベントホールやギャラリーなどの複合施設を取り入れ、常滑文化の発信基地としたい。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

知のかたち、未来をつくる。

キャッチフレーズに込めた思い

常滑焼に象徴される「形をつくる文化」と、知を未来へつなぐ役割を表現。

『文化の力で歴史をつなぎ、人をつなぎ、地域をつなぐ』

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

豊かな自然を残しつつ、旧常滑高校跡地を使う。

理由

- ①自然災害に強い高台にあり、地盤がしっかりしている。
- ②県の所有地であり、県の収蔵庫予定地になっている。県美術館を併設しつつ、常滑市立図書館を同敷地内に建設する。
- ③INAXライブミュージアムと陶の森を併せて常滑の文化の拠点“文化の森”とする。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

市民の多様な要求を満たすには、旧図書館の倍の広さが必要である。

既存の3施設をどうする

3施設とも、それぞれの地域には必要。今まで通り、公民館と併設する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

図書館の中心は本です。
読書を通して市民生活が豊かになり、人と人がつながっていくと考えます。
本の専門家である司書と職員の質を高め、利用者を本の魅力へと導く。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

“読書と居場所を充実させる”を中心におく。
そのためには何が必要かをワークショップで出た意見を是非参考にしてほしい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

拠点図書館としての役割

- ①地理的条件を視野に入れ、サービスの公平さを重視する。
- ②地域にある小中高の学校図書室を地域に開放し、利用できるようにする。
- ③要請があれば 出前図書（あおぞら号）を走らせる。（各区の公民館・介護施設等）
- ④運営にあたる司書・職員の育成を充実する。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

『文化の力で歴史をつなぎ、人をつなぎ、地域をつなぐ』

キャッチフレーズに込めた思い

常滑の地域性を活かし、本を中心に人々が集まり明るい生活が送れるように・・・

新時代の図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

駅の近くなど交通に便利なところに作るといいと思う

理由

交通に便利になると来る人が増えると思うから

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

ある程度大きく

既存の3施設をどうする

全部そのままいいと思う

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

カフェなど

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

カフェは絶対欲しいと思ったから

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

誰もが自由に来れるようにしたい

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新時代の図書館

キャッチフレーズに込めた思い

カフェなど増やせるものを増やし誰もが自由に行き来できる時代を作りたいから

快適で楽しく、何度も訪れたくなる図書館。

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地に新築されることを願う。財政的に厳しいとは思うが。南陵分館の改築、増築はどうだろうか。

理由

市は南北に長く、中心部や北部に比べ、南部は旧態依然に感じられる。新しい図書館を中心に入々が集まるエリアができれば南部の活性化につながる。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館と同程度。ただし、デザインにはこだわりが欲しい。

既存の3施設をどうする

既存の3施設は予約受取り、返却のスポットとして残す。移動図書館の滞在スポットとして活用する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

自動貸出、予約本の時間外受け取りは必須。
カフェ、飲食スペースがあると嬉しい。
多目的室、イベントスペースも人を集めるために活用したい。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

ＩＣＴは必須。司書が対面で貸し出し、返却をするようでは時代遅れとなる。
デザイン、内装にこだわり、見て楽しみ、滞在を楽しめればＳＮＳや口コミで評判が広がり来客増に繋がる。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

小牧や安城のような図書館が常滑にできたら、どんなに嬉しいだろうとは思うが、財政の内情を聞かされると実現は困難で、江南のようにコンパクトなものになるだろうと考えてしまう。が、規模は小さくても他にはない特色を打ち出せれば、面白い図書館として話題になって人々が集まつてくる場所にしたい。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

快適で楽しく、何度も訪れたくなる図書館。

キャッチフレーズに込めた思い

定期的に訪れるたびに何か楽しいことが見つかる場所になってほしい。

みんなの図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

コストと時間はかかるが人口が集中しているエリアや駅近の土地を購入し、新築で整備するのが良い。

理由

常滑市が所有している土地は海から近く、液状化の恐れがあり駅から近い土地が少ないため災害があった際に利用者や貴重な資料を守ることができない、避難所として利用することが出来ないことや交通の便が悪いがあるため新しく土地を購入するべきであると考えた。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧図書館と同じ規模

既存の3施設をどうする

既存の3施設は全て廃止し、集約する。
2階建てにし、全て集約することで新しい図書を購入する必要がなくなりコスト削減に繋がると考えた。

将来の人口減少で既存の図書館を廃止する可能性がある場合、廃止してから図書を移動となると既に所有している本や当時であれば最新の情報が載っていた本を除籍しなければいけないためその分コストや手間がかかってしまうと考え、予め全て集約すると良いと考える。

また、常滑ボートレース場内に大きなホールがあり、そこで読み聞かせが可能という話もあったがその場で読み聞かせの絵本が借りられないことや、ほかの本を見て回るということが出来ない、読み聞かせの為だけにボートレース場まで行く手間を考え図書館を新設する際に安城図書館や小牧図書館のような読み聞かせスペースがあると良いと思う。

さらに、地域格差が生まれないよう富津図書館のように移動図書館を使用し駐車ポイントを複数用意することで図書館から距離が離れている地域の人にも本の貸出が行えるよう工夫が必要である。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

新しい図書館には安城図書館や小牧図書館のような読み聞かせスペースや子供が喜ぶような家具、仕掛けがあると良い。

全ての図書館を集約するため子供連れの利用者もいることから、こども図書室を利用していたより楽しめる施設になって欲しい。

また、ＩＣＴなどを導入することでスタッフの雑務を減らすことが出来、本来の業務に集中できるのではないかと考えた。司書からレファレンスを受けたい利用者は窓口を利用し、自分で本の貸出処理を行いたい利用者は自動貸し出し機を利用するなどば利用者のニーズに合わせることがメリットであると考えた。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

図書館の役割として図書の充実が1番大切であると考えた。

青海図書館を視察した際にＩＳＢＮがない資料、手に取られない本も貴重な資料という言葉に心を打たれ、ほかの図書館の視察もそこを中心に視察させていただいたからです。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

クラウドファンディングの活用や募金を募ることで整備費用やＩＣＴ機器、新書の購入の費用に当て、本を寄付することでコスト削減や資料の充実に繋がると考える。

グリーンでは回れない地域は図書館に行きたい人が1箇所に集まって一緒に図書館に行く図書館タクシーをボランティアで行うことで利用者を増やすと同時にスタッフの負担軽減になると考える。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

みんなの図書館

キャッチフレーズに込めた思い

常滑市民だけでは無く、市外や県外、国外まで目を向け国籍や地位(子供、ハンディー、キャップなど)による差別がない図書館になって欲しい。

みんなの居場所、とこなめ図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で
常滑駅周辺、あるいは市庁舎周辺に新築

理由

中高生や高齢者など交通弱者のことを考えると駅周辺か、バスが多方面から乗り入れている市庁舎周辺が無難かと思います。また、市庁舎周辺であれば「病院のついで」「市役所に行くついで」「買い物のついで」と、用事を同時に済ませることができるメリットもあると思います。

そう考えると、交通に困らず買い物も済ませることができる、常滑イオンにテナントとして入るのも魅力的だと思いますが、今のところ先方からいい話があるわけではないとのこと。賃貸料や店舗撤退など景気や先方の都合に振り回されてしまうリスクもあると思います。

また、観光としても活用するなら海の見えるところや、やきもの散歩道近くもいいけれど、海の近くであれば災害時の心配があつたり、散歩道周辺は道路の狭さが心配だつたりします。

土地がないから、広い図書館がいいから、と周りに何もないのにポツンと図書館を建ててしまうと普段図書館を使わない人は寄り付かないのではないかと・・・。

第一のターゲットは市民。多数の市民が安心して使える、使いやすい所、がいいかなと思いました。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館よりも少し大きな規模で、蔵書数を増やし、使いやすい学習室も作ってあげて欲しいです。ゾーニングをして、大人も子供もそれぞれの年代に合った本の読み方ができるようになっていると嬉しいです。

よく子供の読書習慣には光が当てられますが、高齢者においても「個人の読書習慣が認知機能低下リスクを下げる」とか、「地域の人口当たりの蔵書数が増えると要介護リスクが減少する」というような研究結果があるそうです。

どんな人にとっても使いやすい図書館、蔵書の豊かな図書館の整備は高齢化が進む中、転倒予防教室や介護予防教室などと同じ熱量で取り組むべき課題だと思います。

既存の3施設をどうする

青海と南陵は、市の中央まで行きにくい人のために残した方がいいと思います。例えばが頻繁に出ていても、北部南部の高齢者や子供にとっては遠く感じると思います。

I Cタグ利用で無人で貸出・返却ができれば徐々に省人化し、上手くいけば市民ボランティアのみでも運用できるかもしれません。蔵書は今より減らして以前のような状態に戻したとしても、時々本を入れ替えたり、学習スペースを確保したりして、地域の市民が気

楽に使える居心地のいい場所は作ることができます。

もし市庁舎周辺に新図書館を建てることができたとすれば、こども図書館は本館に吸収してしまってもいいと思います。あるいは絵本を中心置いて、くつろげるスペースを広くとって、低年齢の子用のスペースにするのもいいと思います。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・ I Cタグを活用して、自動貸出・返却、予約本受取。これがあれば、分館があっても職員の負担はずいぶん減るのではないか？
- ・ 読み聞かせや小規模な上映会やイベントができる小さなスペースがあるといいと思います。普段はボードゲームをしたり、読書をしたりできるフリーな空間。図書館機能だけだと足を運ばない人も、イベントがあれば来るきっかけになると思います。
- ・ カフェスペース。店舗が難しければ自動販売機コーナーでも。「図書館のホールに行けば一休みできる」が浸透すればコーヒーのついでに本も読むかも・・・。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★★☆☆☆☆☆

Ⓒ I C Tなどの設備の整備

★★★★★★☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★★★☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★★★☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★★★★★☆☆☆

Ⓗイベントスペースなどの充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

「どうすれば図書館に足を運ぶか。その人にとってメリットがあれば足を運ぶ。」同じ班になった方の印象的な言葉です。

何がメリットなのか。

- ・ 本好きにとって「Ⓔ図書資料の充実」
- ・ 子供たちにとって「Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実」（友達と待ち合わせて一緒に過ごせるところ、静かに自分の時間を過ごせる、というだけで大きなメリットに思う）
- ・ 高齢の方・普段本を読まない方にとって「Ⓑ快適な読書・居場所空間」「Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス」なのかな、と思いました。
- ・ 「Ⓒ I C Tなどの設備の整備」はこれから労働力不足を考えると必須だろうと思います。

本当は全部に☆10個つけたかったけれど、計算しながらつけるとこういう結果になりました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- ・イベントスペースで行う小規模な上映会(映画だけではなく、何かテーマのある映像でも)は普段本を読まない人や子供も呼び込めると思います。イベントのテーマに合わせた書籍を紹介することで、自然に本にも興味が向くのではないかでしょうか。立派な座席がなくても、クッションや寝袋を持ち込んでゴロゴロ観たり、マニアックな昔の映画をお酒を飲みながら楽しんだり、自由な空間があると面白いなと思います。
- ・グループワークで出た言葉、「自分事としてとらえる」。
- ・より多くの市民が街の図書館のお手伝いができる仕組みがあるといいなと思います。子供たちも参加できるようなものも用意して、図書館を身近に感じてもらえるといいなと思います。ボランティアをするとポイントがもうえて、ポイントがたまると何か特典があったり、ちょっと楽しいことがあるといいなと思います。
- ・図書館オリジナルグッズの作成。日本語の可愛いデザインがあれば、外国の方の目にもとまるんじゃないかなと思います。空港や散歩道などで販売できるといいなと思います。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

みんなの居場所、とこなめ図書館

キャッチフレーズに込めた想い

本を読む人も、あまり読まない人も、気軽に立ち寄って自分の時間を過ごせる場所。

みんなが自分のペースで過ごすことのできる心地の良い空間。

いくつになっても、出かけたくなる図書館。

そんな、みなさんにとつてのステキな居場所になるといいなと思って考えました。

いいこと見つかる とこなめとしょかん

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

既存の市の施設(市役所、体育館、学校等)内の一部をリノベーションするか、それらの敷地内や駐車場内に新築。

理由

費用を抑えることが、一番大事だと思ったから。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より少し大きめで、小さくても2階建て。(子供と大人のフロアを区別するため)

既存の3施設をどうする

3館とも図書館の機能は廃止し、市民向けの講座等で使用する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・幼児からシニア世代のすべての人々が使いやすい機器や空間。
- ・一人掛けの椅子が多めの広い閲覧スペース
- ・イベントスペース
- ・クリーリングシェルター、災害時の避難場所
- ・その時々のニーズや流行に柔軟に対応する企画力
- ・自然エネルギーの活用(発電はソーラー、風力、波力、水力等)

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★★★★☆☆☆

ⒸＩＣＴなどの設備の整備

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★★★★☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖイベントスペースなどの充実

★★★★★★★★☆☆☆

理由・考えたこと

厳しい財政状況を考え、ハードよりもソフトの充実を選びました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

財政確保のために、

1. 国や県からの補助金、助成金等をお願いする。
2. クラウドファンディングや常滑市に縁のある企業や著名人に寄付をお願いする。ネーミングライツも活用。
3. 優良企業を誘致。
4. 常滑市への観光客を増やす。（フィルムコミッショングでバックアップするロケ地巡りや推し活）

最後に、

- ・物価高騰の昨今、計画、着工はお早めにお願いします。
- ・新図書館オープンにあたり、何かできる作業等があればお手伝いします。
- ・ワークショップの活動を、サポートしていただいた全ての皆様に、感謝を申し上げます。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

いいこと見つかる とこなめとしょかん

キャッチフレーズに込めた想い

たくさんのいいことを見つけるために、皆さんどうぞ来て下さい、という想いを込めました。

「つながる・まなぶ・ひらける 常滑の知のとびら」

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

中長期的に安定運営を狙うため、駅徒歩圏の市有地に新築が理想。
名鉄常滑駅周辺の市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築。

理由

- ①交通アクセス→利用率向上を狙うなら生活圏・通学動線に近い場所が有利。名鉄常滑駅周辺であれば市民・学生・観光客のアクセスが良く、ついで利用も狙える。無料バス利用者も乗り換えしやすい。
- ②土地条件→市の保有地の中では面積が広く、津波災害予想（～0.5m）及び液状化リスクが低い。
- ③財政状況→財政負担が厳しい現状では、土地の新規取得は重い。一方、賃借やリノベーションは常滑駅徒歩圏内に妥当な候補地が見当たらないため、既存用地の活用を優先検討する。初期投資についても、場合によっては工期を分けて、資金の波を分散させることも検討すべきと考える。
- ④再生プロジェクト→廃院後の土地活用問題を解決し、市民の関心を集めやすい。市の象徴的再生プロジェクトになり得る。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

延床面積3,500m²～4,000m²程度

- ・市民ワークショップでもゆったりできる図書館、くつろげる図書館に対する希望が多いことからも、一定のスペースは必要ではないか。
- ・「利用率向上」と「居心地の良さ」を両立させるため、空間効率+バリアフリー+見やすさをセットで設計する。
- ・蔵書スペースについては、電子書籍の導入、高密度書架の活用などによって圧縮したい。
- ・また、曜日や時間によって利用率が大きく変動する多目的室・イベントスペース・学習室などは、可動間仕切りで分割し、利用人数に応じて広さを変える形で機能性を追求する。

既存の3施設をどうする

- ①青海：返却・予約受取拠点として縮小残存。
・職員常駐はやめ、無人化。無人受取・返却ロッカーと予約端末を設置。人件費・水道光熱費削減。

- ②南陵：返却・予約受取拠点として縮小残存。
 ・職員常駐はやめ、無人化。無人受取・返却ロッカーと予約端末を設置。人件費・水道光熱費削減。
- ③こども図書室：閉鎖。中央館に統合し、児童エリアを充実。
 ・児童サービスは中央館の目玉機能とし、広く明るい児童室を整備。体験型イベントも中央館で集約。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ①学びを深める場（学習支援機能）：探究学習・調べ学習サポート。学校司書（各学校への配置が前提）との協働又は図書館司書との連携及び書籍の学校配達サービスの強化。地元企業・専門家との連携講座開催。
- ②デジタルでつながる場（情報機能）：電子図書館サービスの提供。データベース提供。無人貸出・返却ロッカー・24H返却。
- ③人と人が出会う場（コミュニティ機能）：多目的室・可動間仕切り空間の確保。地域文化の発信（観光資源・地域ブランドを発信）。フリーカフェラウンジ（おそらく採算性が取れないため、空間を整備して無人化運営）。

単なる蔵書貸出ではなく、「学ぶ」「つながる」「発信する」機能を統合した拠点として計画する。
 予算的なことを鑑みると、初期段階では必須機能に重点投資し、発展的機能は利用状況を見て段階的に拡充する設計が現実的と考える。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
 Ⓛ快適な読書・居場所空間
 ⓂＩＣＴなどの設備の整備
 Ⓝ展示やイベントなど図書館サービス
 Ⓞ図書資料の充実
 Ⓟ青海・南陵・こども図書室の充実
 Ⓠ学校図書館や保育園との連携
 Ⓡカフェや飲食スペースの充実
 Ⓢ学習室など勉強できる場所の充実
 Ⓣイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

- ① シンボリックで立派な建物 (★2) → 財政制約を踏まえ、見栄えよりも機能性とデザインを重視。「市民の誇り」となるような清潔感・親しみやすさを確保したい。
- ② 快適な読書・居場所空間 (★7) → 「行きたくなる理由」の重要な要素。快適な空間整備で、幅広い世代が安心して長時間滞在が可能になると良い。
- ③ I C Tなどの設備の整備 (★7) → 自動の貸出・返却、予約システム、電子図書館で利便性と省人化を実現。人件費削減にも直結し、ランニングコストの抑制や職員の付加価値業務への集中につながる。
- ④ 展示やイベントなど図書館サービス (★3) → 「貸出だけではない図書館」としての魅力を提供する。市民参加や学び直しのきっかけや観光情報発信につなげる。
- ⑤ 図書資料の充実 (★7) → 図書館のメイン機能で、ヘビーユーザーにとっての最重要要素。新刊・児童書の充実は利用率アップの大きな要因になると考える。蔵書スペースの観点から、電子書籍との連携も重要。
- ⑥ 青海・南陵・こども図書室の充実 (★1) → 中央館への集約が基本。既存館は予約受取・返却拠点など最小限機能で対応。
- ⑦ 学校図書館や保育園との連携 (★6) → 子どもの問題解決力や学力のアップには重要な要素。探究学習や読書教育を支えて教育効果の最大化をはかるべき。また、卒業後も中央図書館を利用してもらうために、学生時代から図書館を身近な存在と位置付ける。
- ⑧ カフェや飲食スペースの充実 (★1) → 滞在時間を伸ばす副次効果はあるため設置は必要と考えるが、行政運営・民間運営に関わらず、不採算になる可能性が高いため、無人型カフェで十分ではないか。
- ⑨ 学習室など勉強できる場所の充実 (★3) → 中高生・社会人の居場所をつくる。ゾーニングにより学習・読書・交流を両立。なお学習スペースは市役所や公民館、字の会館などにも設置し、学生のアクセス（徒歩や自転車）に配慮。
- ⑩ イベントスペースなどの充実 (★3) → 講座や交流を支える拠点は必要。多目的室を可動間仕切りで兼用し、効率的に運用。ビジネス用途は一部有料化して、収益化を狙う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

①施設整備や運営、サービスの柔軟化

- ・公民連携で、効率とサービスの質を高める。

(理由) 限られた資源で高品質サービスを維持するために、民間ノウハウを活かす。また、イベント運営・広報は民間の方が得意で、参加者増や収益化にもつながりやすい。

②デジタルとリアルのハイブリッド化

- ・電子図書館・オンラインイベントを強化し、来館できない市民にもアクセス可能にする。

- ・利用状況データを分析し、蔵書構成やイベント内容を継続的に改善する。

(理由) 通勤・通学・子育て世代など物理的に来館が難しい層の利用機会を確保する。また、データの活用で「本当に使われる図書館」を作る。

③スマートライブラリー

- ・ I C Tを活用した無人化・自動化サービスによって、一部エリア限定で、早朝・夜の

無人開放をおこなう。

- ・限定貸出コーナー（高額・貴重な資料は閉架書庫）や学習室など、一定エリアを無人開放し、ICカード認証で入退室を管理。自動貸出・返却のみを対象とする場合は、セルフ貸出機と返却ポストの設置のみで対応。
- （理由）公共施設の稼働率向上（投資効果の最大化）。人員を増やさずサービス時間を延長し、利用者の満足度を高めるため。

④ブックステーション

- ・子育て支援施設・病院・福祉施設などへの分散配置で、「図書館の機能を館外に広げる」取り組みをおこない、交通手段が限られる高齢者、子育て中の親、待合中・入院中の患者にも本を届ける。
- ・商業施設（イオンなど）や空港・駅にも雑誌・地域情報を配置し、空き時間や待ち時間に気軽に手に取れる環境を整備。

（理由）「図書館に行けない人を取り残さない」視点でアプローチ。福祉・教育・医療部門との横断的な連携によって、行政全体の効果を高める。館外で本に出会った人が、中央図書館や電子図書館を利用するきっかけとなり、さらに観光への動機づけにもつながる。

⑤財政健全化と収益化

- ・補助金・助成金、寄付（遺贈含む）、クラウドファンディング、ふるさと納税などによる整備資金確保。
- ・デジタル化・AI活用、ボランティアの活用による人件費の削減とZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）、ネーミングライツ、スポンサーシップ、イベント協賛によるランニングコストの軽減。
- ・会議室やイベントスペースの有料化やグッズ販売（トコタン、もいもいなど）、有料講座で収益化。
- ・電子書籍について、整備・運用コスト回収のため、基本的な貸出は無料としつつも、追加料金で「プレミアム枠」を設定して（同時接続優先権やリクエスト冊数上限アップなど）収益化をはかる。
- ・コスト的に単独整備が困難な場合、他の市町村と提携し、システムを共同開発又は既存市町村システムのレンタルも視野に。それも不可能であれば、当面は「愛知県電子図書館サービス」で、市の追加コストをかけず、市民に登録促進をはかる。

（理由）財政が厳しい常滑市では、「お金をかけずに建設・運営する仕組み」を設計段階から組み込む必要がある。市民や企業も「自分たちの図書館を一緒に作る」意識を高め、愛着と利用率向上につなげる。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

「つながる・まなぶ・ひらける 常滑の知のとびら」

キャッチフレーズに込めた思い

- 「つながる」：人と人、学校と地域、過去と未来をつなぐ
- 「まなぶ」：探究学習や生涯学習を後押しする
- 「ひらける」：新しい発想・交流・挑戦の場として、未来を切り開く
→ 図書館を単なる本の貸出し場所ではなく、市民の成長とまちの可能性を切りひらく「知の玄関口」にする思い。

ニューウイングライブラリー

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

現在の常滑警察署の場所
デザイン性の高い斬新な新築が良い。

理由

常滑警察署が飛香台へ移転予定が有る為。
(計画を早める)
駅、郵便局、市民文化会館も近いので充分集客は考えられるから。
駐車場も有るし、少し離れているが、旧市役所も駐車場となっている。
但し、欠点は海岸に近い事。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

青海公民館を3階建てにしたぐらいの大きさ。

既存の3施設をどうする

市役所内のことども図書室は新しい図書館に集約して、青海と南陵は今までどおり残す。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ＩＣＴ管理されていて、自動貸出や予約が出来るシステム。
学習や読書や飲食様も含めて席（イス）がたくさん有るといい。
乳幼児が喜びそうな可愛らしいスペース、小部屋が有るといい。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

人が集まる場所と考えたとき、行きたくなる様なステキな建物であり、居心地のいい空間が有る事を重視した。
若い世代にとって、長い時間学習出来る様にカフェや飲食スペースも有って欲しい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

ボランティア団体を登録して、定期的に色々なイベントを行う。
子育て支援センター、シルバー人材センター、社会福祉協議会を入れる。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」
ニューウイングライブラリー

キャッチフレーズに込めた思い

新しい図書館が出来た事によって、全てが良い方向に向かって、新しい風が起り、人も動き出せば活気溢れる常滑市となって行く。

集える図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地①（旧北給食センター敷地）に新築、又は文化会館と中央公民館を改築

理由

土地取得の時間と費用の節約と常滑の真ん中あたりなので利用しやすいと思って

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より少し大きい規模が良い

既存の3施設をどうする

こども図書館は現在のまま（子供が減少したら廃止） 青海、南陵は規模を縮小（本の予約の受け取りができるくらい）

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

居心地の良い空間と蔵書の充実

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

人口が減っていく事を考えると市民以外の利用者が増える方向とイベントスペースは他にあるのでなくてもいいかと思います

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

海や飛行機が見えるとか魅力のある図書館にしたら市民以外の利用(観光客、買い物客)も増えると思います。

地元の企業に宣伝も兼ねての最新のトイレ設備があったら面白いと思います。空港も近いこともあり収益のある図書館が作れたらと思います。

人のコミュニケーションが減る中で、年齢人種問わず、図書館を通じて交流ができる場所にもなって欲しいです。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

集える図書館

キャッチフレーズに込めた想い

色々な人が集まり心温かい場所になって欲しいとの想いから

とことん図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

資料6 市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築

理由

- ・新たに土地の購入をする必要がなく、費用削減と土地購入手続き時間を短縮することが出来る。
- ・起伏のない土地なので開放感がある。
- ・海と空港が近いので、ちょっとした非日常空間となり得る。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

- ・旧本館以上の大きさ

大きければ大きいほど良いという訳ではないが、書籍を多く置けるスペース、多くの学習スペース、くつろぎスペースを希望

既存の3施設をどうする

- ・青海、南陵図書館は分散移動前の規模。こども図書室は現在のまま。こども図書室は将来的に子供が減ったら子供専用図書館とはせず、青海、南陵図書館と同じ様な内容にする。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・ I C タグ
自動貸出機で効率良く借りられ、返却できる。
- ・ 雑誌スポンサー制度
図書館の財源確保の為
- ・ 屋上か屋外にくつろぎのスペース
外の景色や空、飛行機を見ながら一息つけるとスペースを作る。江南図書館の様に、夜、星の鑑賞会が出来る様なスペースがあると嬉しい。
- ・ もしカフェを入れるとしたら、大手のカフェでなく、地元企業の出店を希望。理由は、より地元色が出ると思うので。
- ・ 災害時の避難場所としての機能を備える

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐ シンボリックで立派な建物
- Ⓑ 快適な読書・居場所空間
- Ⓒ I C Tなどの設備の整備
- Ⓓ 展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ 図書資料の充実
- Ⓕ 青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ 学校図書館や保育園との連携
- Ⓗ カフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ 学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛ イベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

個人的に図書館に求める点は、

- ・ 豊富な書籍量
 - ・ 快適で安心出来るスペース
 - ・ 読書、勉強に没頭できるスペース
- があること。

第一優先ではないが、富津市立図書館に有るような移動図書館。この様な移動図書館が保育園、小中学校へ行けば、子供たちはとてもワクワクすると思う。このワクワクは一生忘れず、図書館や読書への良いイメージが心に刻まれると思う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- ・屋上、屋外での星の鑑賞会を開催
学習としての子供向けだけでなく、非日常を楽しむ大人対象のものも。
- ・常滑の急須、陶器を使った日本茶カフェ。
急須を使う体験を兼ねて、常滑焼の存在アピールと身近に感じてもらう為。
- ・旅行、飛行機関連の本を集めたスペース
空港の街をアピール
- ・外国語の本スペース
日本人が外国語にふれる機会だけでなく、在住外国人、観光客に向けた外国語書籍のスペース。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」
とことん図書館

キャッチフレーズに込めた思い

市の「第6次常滑総合計画」の「とことん住みたい世界とつながる魅力創造都市」から。

図書館を、とことん楽しむ、とことん楽しめる場所に創っていきたいという願いを込めて。

キラキラ図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で
飛香台か駅周辺に新築するのが良いと思う

理由

駅周辺ならアクセスがよくて人が集まりやすいと思うし、待ち合わせとかで少し入ったりする人もいると思うから。
飛香台なら子供がたくさん住んでいるから、家族で行きやすいし、中高生も自習しに来ると思う。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模
江南市くらいの規模がいい

既存の3施設をどうする
青海と南陵は今まで、こども図書室を廃止し、機能は新しい図書館に移動する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

広い自習スペース

飲食OKなスペース

ソファで本を読めるスペース

図書館に来た回数〇り借りた本の冊数によってスタンプが貯まり、クーポンなどがもらえるキャンペーン

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

どんな世代の人も過ごしやすいようにしたい。
建物の外観よりは内観に力を入れてほしい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

せっかく空港が近くにあるから、海外や国内の文化や旅行などの本をたくさん置いてほしい。
ボードゲームの貸し出しもやってくれたら嬉しいな、、

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」
キラキラ図書館

キャッチフレーズに込めた思い

人が入りやすい明るい雰囲気で、図書館に行くのが楽しみになるような図書館になって欲しい。

ことばを抱きしめる図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

(事務局から紹介のあった)市有地①(旧北給食センター)に新築するのがよい

理由

民間の土地を取得するのには時間がかかる可能性もあり、土地を取得するためにはお金も必要になってくると施設面においてできることが減ってしまうのであまり良くないのではないかと思います。

また、テナント型も施設面に制限があることや他の利用目的でくるお客様がいることから話し合いの時に出てきたのびのびとした図書館をつくることは難しいのではないかと感じたからです。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧図書館より少し大きいくらいか同じくらいの大きさが良い

既存の3施設をどうする

新しい図書館ができたら青海、南陵は分散移転前の規模に戻し、こども図書室は飛香台から子供が減り利用者の減少が見られたら廃止する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

子供たちが楽しく賑やかに本を読める場所と大人や中高生が落ち着いて静かに本を読める場所があるとよいと思います。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

図書館としての機能を重視し、中高生が図書館に来やすくなるきっかけになりそうな学習に関するこころを中心にして決めました。

また、ＩＣＴを使用した図書館にすることで働きやすい環境が作れるようにしたいと思い決めました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

本を読んだりして学ぶ場所という堅いイメージを払拭できるような楽しい場所になってほしいと考えます。

本を読むのは難しいそうというイメージで図書館に行く人が減少したり、本を読むこと自体をしなくなるというのはとても残念なことだと思うので、本を読むことが身近になるような気楽に本を楽しめる場所になってほしいと思います。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

ことばを抱きしめる図書館

キャッチフレーズに込めた思い

「ことば」は本のことを表しています。そして抱きしめるとは育む、大切にするを象徴しています。言葉とは私たち人間が進化の過程で得た素晴らしい発明です。だからこそ私たちはコミュニケーションをとることができ、意思を伝えたり受け止めたりできます。また、出来事を記し、後世へ伝えるなど実際に体験していない世代にどんなことがどんな思いで行われていたのか伝える役割を担っています。

そんな言葉も間違った意味で使ってしまうと相手にうまく伝えることが出来ず、諍いになってしまることがあります。だからこそ図書館を利用して言葉を学んだり、少し違う時代のことを学んだり、他の国のこと学んで相手のことを理解できるようになってほしいと思っています。

だから図書館が本を大切にして図書館で学んでいる人の言葉を育むそんなことができる図書館であってほしいと思いこのキャッチフレーズにしました。

まねき図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

常滑市は南北に長いので、現在の市役所や消防署の近辺の位置で、比較的交通の便利が良い位置にあるのが理想的かと思う。

市有地の現在の常滑中学校、または市街化調整区域を活用、もしくは原松町交差点を東に向かって右手のパチンコ、スロット屋さんの跡地など、少し広めの土地の購入をして建てるのが良いかと思う。

理由

みんなが行きやすい、安全な場所(高潮、地震による液状化の無い少し小高い場所)が良いと思ったから。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市くらいの規模が良い

既存の3施設をどうする

既存の3施設は状況に合わせて規模は調整し、移動図書館も増やす。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

個人スペース、A I カメラ、電子新聞、学習室、ラウンジ、ボードゲーム、多様な閲覧スペース、Wi-Fi環境、カフェ

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸI C Tなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

シンボリックで立派な建物で無くても居心地の良くずっと居たくなるような図書館であって欲しい。その為には各年代の方々の活用に合ったスペース作りと多少の飲食が出来る環境が必要と考えました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

各年代の人たちの交流の場。本を中心に様々な価値観を共有し、高め合える場。興味のある事や自分の取り組みの発表、展示、イベントなどを行う。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」
まねき図書館

キャッチフレーズに込めた思い

Cグループの発表の中にあったものですが、常滑のどこにやんやトコタンのイメージと人を招くという意味合いでもとてもいいと思った。

ニヤンブライ

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

常滑駅になるべく近い場所に新築するのが良いと考える。

理由

テナント入居も考えたが、この後の項目で述べることを考えると時間がかかるが新築のほうが良いと思った。また、場所については常滑駅から近いほうが行きやすい人が多いのかなど考えたため。(ただし、液状化のリスクなど他の点も考慮する必要あり)

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より少し大きいくらいの規模がよいと考える。

既存の3施設をどうする

新しく作る図書館にこども図書室を組み込み、現在市役所にあるこども図書室を廃止する。青海と南陵は残しておいたほうがよいと思う。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

予約本貸出機や自動貸出機(ただし、有人の貸出カウンターも併設したほうがよいと思う)があるとよい。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

図書館ということで、まずは快適な読書空間と図書資料の多さが一番重要ではないかと考えた。また、財源の問題もあるのでＩＣＴの導入は場所を絞って行うべきだと思ったので★4にした。

建物は少し話題性を持たせたほうが良いのかなと思い、★4とした。
その他もさまざま点を考慮して★の数を設定した。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

図書館に使える財源を図書館で賄う(例:グッズ販売をして収益を得るなど)ということも大事になってくるのかなと思う。加えて、何かしらの話題性をもたせて市外からの人も呼び込んでお金を消費してもらうとより良いのかなと考える。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

ニャンブラリー

キャッチフレーズに込めた思い

猫の鳴き声「ニヤン」(どこにゃんの「にゃん」と捉えてもよい)と図書館の英語「ライブラリー」を組み合わせた語。どこにゃんのような左手を上げた招き猫は「人や良縁を呼ぶ」とされているので、新しい図書館にたくさん的人が来てほしいという願いを込めた。また、常滑市は招き猫の生産量が日本一ということもあり、多少の宣伝効果はあるのではないかとも考えてこのようなキャッチフレーズにした。

みんなの居場所＆情報発信基地！新図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地に新築した方がいい。
立地場所は理想は旧常滑高校

理由

リクシルの観光地もあるし、
散歩道や観光の中にとけ込んだ図書館がまた魅力的に思うから。
市民への地元愛も深まるのでは。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より少し大きいくらい。
理想は小牧図書館。小牧のようにスペースをいかした本や椅子の配置は魅力的。

既存の3施設をどうする

青海、南稜は残し、こども図書室は本館に吸収。
南北の方の交通の不便さなどを聞いて、残すか、もしくは移動図書館の役割を強めて南北の方も本に触れられるようにする必要があると思います。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

小牧図書館のような、1日いられるような機能(飲食スペースや個別ブース、サイレントブース)など居場所になるような機能。特に居場所がない不登校ひきこもりの人もいられるような、障害や病気などで困った人にも優しい図書館を希望します。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

優先順位

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

市民の困りごと、問題課題について気軽に発信できてまた知ることができるまちの情報発信の中心を担う場所となることを望みます。

市民が集まり、話し合い対話などができるワークショップが開かれることによって、互いがより住みやすく、愛着がもてるまちになっていくと思う。

後は新しい居場所となりうる図書館の役割は重要と考えます。是非不登校やひきこもりの方、こどもからお年寄りまでが居場所として活用できる図書館にして頂きたいです。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

みんなの居場所＆情報発信基地！新図書館

キャッチフレーズに込めた思い

質問⑤の答えと重複しますが
困ってること等が発信できて
知ることができる場になり
みんなの新しい居場所となりますように

の願いを込めました。

「学びも、子育ても、ひと休みも。あなたの暮らしを、ちょっと豊かにするライブラリー」

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

はじめに、私は未就園児2人を子育て中の母親です。「子育て世代にやさしい図書館ができるらしいな」という思いでワークショップに参加させていただきました。

もし新しい図書館を造るのであれば、今市内に住んでいる人がもっと子育てを楽しめるようになる、また、市外の子育て世代が常滑に住みたくなるような魅力的な図書館であってほしい。そういう目線でレポートを書かせていただきます。

新しい図書館は「イオンモール常滑へのテナント入居」+ニーズごとの分館方式が良いと考えています。

具体的には…

- ・イオンモール常滑の図書館を「ファミリー・子ども向け図書館」として開設。親子や子どもたちが気軽に立ち寄り、本に親しむ場を作ります。一般的な図書館とは異なり、少し賑やかな雰囲気で過ごせる場とし、絵本、児童向け書籍、ボードゲームや雑誌などを置きます。
- ・分館①「こども図書室」を「ビジネス向け図書館」としてリニューアル。ビジネス向け書籍や雑誌、資格書籍、新聞などを置きます。
- ・分館②「青海本館」を「大人の図書館」へ再編。心地の良い椅子などを整備し、小説や趣味の本など、大人がゆっくり読書を楽しめる場所とします。

理由

市役所・病院・給食センターなど施設の新築が相次いでおり、市の財政状況はかなり厳しいと感じています。余裕があれば新築単館の図書館が一番だとは思いますが、財政負担が少ないテナント入居が現実的かなと思います。

テナント入居の単館方式も理想ではありましたか、広い面積で丁度良く借りることは難しい・テナント料を減らせるかなと思い、既存施設も活かした分館方式としました。

安城市の図書館はテーマごとにフロア分けされていったので（「子どものフロア」「暮らしのフロア」「学問と芸術のフロア」）、その方式を参考にテーマごとに分館としました。以下、詳細な理由です。

①財政負担を減らすこと

テナント入居+既存施設利用で図書館建設費用を削減。また、新規開設のイオンモール常滑内図書館は、モールの既存設備を使うことにより経費削減ができるかと思います。

例えば、授乳室、おむつ替えスペース、多目的トイレ、子ども用のカート、そして大規模な駐車場。その他、空調設備や清掃・警備といった部分もモールとシェアできることも大きなメリットだと思います。

②イオンモール常滑内の既存施設を活かせること

- ・モール内にはカフェ・飲食店があるので、「図書館にカフェ・飲食店が欲しい」というニーズに応えることができます。
- ・イオンホールがあるので、市として図書館内にホールを作らなくても、イベントなどに活用することができます。

（分館2つのカフェ・飲食店ニーズについては要検討）

③交通の便が良いこと

- ・イオンモール常滑はりんくう常滑駅すぐ、コミュニティバスのバス停もあり、公共交通機関でも来館が可能です。
 - ・市役所内の図書館（ビジネス向け図書館）はコミュニティバスのバス停があるため、公共交通機関でも来館が可能です。
- （青海公民館の図書館の交通については要検討）

④イオンモール常滑がファミリー層や子どもにとって馴染みの場所であること

- ・イオンモール常滑はファミリー層や小中高生が多く訪れる施設なので、買い物や用事のついでに図書館に気軽に立ち寄ることができます。（利用率UP）また、イオンモール常滑としても、図書館来館者で賑わうことはメリットになるかなと思います。

⑤イオンモール常滑の周辺施設と併せて「子育て世代にやさしいまち」をアピールできること

- ・イオンモール常滑内に「ファミリー・子ども向け図書館」を新設することにより、周辺の子ども向け施設（Moooviとこなめ・Gruuunとこなめ・めんたいパーク・フライトオブドリーム等）と併せて「子育て世代にやさしいまち」をより印象付けることができると思います。

⑥イオンモール常滑が、常滑の文化を継承・発信できる場所であること

- ・ワークショップの中で「常滑について学ぶ場に」という意見がありましたが、イオンモール常滑内の「ファミリー・子ども向け図書館」で常滑に関する資料を保存・展示することにより、子どもたちが自分たちの住むまちについて学べる場になると思います。また、イオンモール常滑は海外からの旅行者も多く訪れる場所なので、子どもたちの学び場になると同時に、海外に文化を発信する場（観光施設の機能）にもなりえると思います。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？ また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

- ・イオンモール常滑内「ファミリー・子ども向け図書館」は旧本館ほどの規模感で、書籍を置くだけでなく、キッズスペースを充実させます。
- ・分館①「ビジネス向け図書館」（現・こども図書室）②「大人の図書館」（現・青海本館）については現状の規模感を維持します。

既存の3施設をどうする

・青海本館：

「大人の図書館」へ再編。心地の良い椅子などを整備し、小説や趣味の本など、大人がゆっくり読書を楽しめる場所とします。（趣味を楽しむ図書館は公民館と相性がいいかなと思っています。）

施設の改築やカフェを入れるのは難しいと思うので、挽きたてコーヒーが楽しめる自販機や心地の良い椅子やテラス席などを設け、中の設備を充実させることにより、大人が上質な時間を過ごせる図書館にしたいです。

・こども図書室：

「ビジネス向け図書館」として再編。ビジネス向け書籍や雑誌、資格書籍、新聞などを置きます。可能なら、有料のコワーキングスペースがあつてもいいかもと思っています。こちらもカフェを入れるのは難しいと思うので、飲料の持ち込みを可能にします。（近隣のコンビニ・スーパー・病院内のカフェなどからの持ち込みを想定）

・南陵分館：

今後の人口分布状況も鑑み廃止、サービスポイントとして残します。廃止しますが、代わりに電子書籍を整備し、不便にならないようフォローできるようにしたいです。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

①子育て支援機能：

キッズスペースの充実。イオンモール常滑内の図書館にキッズスペースやボードゲームコーナーを作りたいです。質が良いものができれば、財源確保のため、市外在住者は有料としてもいいかなと思っています。（スペース利用の有料化であれば図書館法には抵触しない？）

②電子図書館サービス：

24時間利用可能で交通不便地域や多忙な層をカバーします。

③ＩＣＴ化：

図書館スタッフが本来業務に集中できるようになり、イベント・企画などを充実させることができます。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★★★★★★☆☆

ⒸＩＣＴなどの設備の整備

★★★★★★★★★★☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★★★★★★★★★☆☆

Ⓘ学習室など勉強できる場所の充実

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓛイベントスペースなどの充実

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

外観にお金をかけるより「図書館の中でいかに楽しく快適に過ごせるか」「ＩＣＴや電子書籍で利便性を上げること」が重要だと思ったからです。

また、イベントスペースや学習スペースは図書館の中になくてもいいかなと思っています。イベントスペースはボートレースとこなめ等にもありますし、学習スペースは小中学生が自転車や徒歩で行ける距離に複数あるのが便利なのかなと思います。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

●財源確保のために

- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金？等の補助金を利用。電子書籍、ＩＣＴ化、観光施設機能（イオンモール常滑内図書館を想定）などで補助金が活用できるのではないかと考えています。
- ・市外利用者有料化（キッズスペース・ボードゲームコーナー）や雑誌のスポンサー制度を導入

●イオンモールとの相乗効果で常滑を元気に

- ・イオンモール常滑内に図書館を入れることにより、図書館にもモールにもお客様が増え、活気あふれる場所になることを期待しています。

●イオンモール常滑内の書店との関係性

- ・テナント入居するのであれば、モール内の書店とは競合するのではなく、協働できたらいいなと考えています。図書館で借りて、気に入った本を書店で購入できる流れを作ったり、作家さんのトークイベントなどを合同で開催したり、書店と一緒に「本を借りる・買う・楽しむ」循環を創出できたら面白いのではないかと思います。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

「学びも、子育ても、ひと休みも。あなたの暮らしを、ちょっと豊かにするライブラリー」

キャッチフレーズに込めた思い

“日常に自然に溶け込む図書館” であってほしいという想いから、このキャッチコピーにしました。

自分が考えている図書館の話になってしまいますが…

- ・買い物や遊びの「ついでに立ち寄れる」イオンモール内図書館
- ・ニーズに合わせた分館方式で子どもから大人まで気兼ねなく利用でき、快適に過ごせる
- ・電子書籍で、忙しい人や交通不便地域でも暮らしを便利にしてくれる
など、市民の生活に寄り添い、日々の暮らしを少し楽しくしてくれる図書館のイメージです。

図書館については「必要ない」という方もいらっしゃると思います。でも、今は利用しない人でも、いつかは必要になる施設かもしれません。

私自身も学生時代はよく図書館を利用していましたが、社会人になり使わなくなり、今子育てをするようになり、再び図書館に戻ってきました。

今図書館が必要な人にも、いつか図書館が必要になる人にも、人生の様々なステージで寄り添ってくれる図書館になるといいなと思います。

「とこなめ」図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

海の見える高台に新築で建設する。

理由

図書館という施設に関し、駅近等の利便性の必要度は低いと考える。

テナント入居ではなく、図書館として独立した機能の建物を建てたい。周りの環境、眺望も良く、津波の危険のない高台が良い。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市くらいの規模。

既存の3施設をどうする

既存の3施設は廃止、新しく整備する図書館に集約する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ギャラリー、イベントスペース、グループ会議、作業スペース。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

図書館としての機能、場／環境に重点をおいた。ＩＣＴ設備整備は人力節減のため必須。立派という文言は違和感があるが、シンボリックな設計を求めるに金がかかるということか、でも建物は後で容易に手を加えられないので、長く使われる事を考えると重要。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

財源確保：

寄付、クラウドファンディング、一部サービスの有料化または有料会員に優待付与、有料講座開催、ギャラリーやイベントスペース使用料

コスト削減：

ボランティアスタッフ、図書の寄付

読書の推進：

おすすめ図書情報共有、読書会、読み聞かせ、図書コンシェルジュ

利用者増に寄与する：

講座、イベント自主開催を歓迎する。市民以外の利用受け入れ。（陶磁器会館の改善を検討されてるかどうか分からぬが、観光客に対してあまりに魅力に欠けるので、図書館に観光客向け機能を持たせてはどうか。）SNS交流。図書館への意見を吸い上げ、関心を持ってもらい、フィードバックする、双方向コミュニケーション。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

「とこなめ」図書館

キャッチフレーズに込めた思い

常滑の産業、歴史を伝え、市民の集う場所であってほしいという願いを込めた。

招き図書

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

名鉄沿線上で、駅から徒歩10分圏内。
駐車場は200台ぐらい確保。
旧市民病院跡を推したく、新築で。

理由

市民は、いろいろなアクセス方法を選択可能。
市民以外にも、常滑の魅力を伝えることができる1つの場所にしたいから。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市の”2階”ぐらいの規模がよい。

既存の3施設をどうする

既存の3施設は存続。
ただし、青海と南陵の2、30年後は、建物のメンテ、高齢化進行につきなくす方向で。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ＩＣＴが整備されていればよいです。
最近の他県・他市の導入レベルぐらいで。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

利用者にとっての快適さ、便利さに重きを置きました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

HP、SNSによる情報発信。
図書を通じて常滑の魅力を伝えるのがよいです。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」
招き図書

キャッチフレーズに込めた思い
Cグループの提案に賛同します。他にはよいのが思いつきませんでした。

自然の中でゆつたりと

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

常滑市体育館の横(芝生ひろば)に新築するのが良いと考える。

理由

- ①高台にあり、津波等の心配がない
- ②常滑高校の隣に位置することで学生の利用が望める
- ③他の市施設と隣接することで経費削減できるのでは(工事費用の削減)
- ④周囲を気にすることなく利用可能(住宅地の中ではない)

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館と同じくらいの大きさ

既存の3施設をどうする

既存の3施設は、そのままとする。

新本館ができたら、少し規模を縮小しても良いのではないか。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ICT

- ①VRでの視聴
- ②自動貸出機(返却)
- ③Wi-Fi整備
- ④電子書籍の貸出

施設

- ①カフェ等の併設(体育館と併設することで可能)
近くに飲食できるところが少ない
- ②巡回バスの運行(高台にあり利用者の負担減)
- ③図書バス(図書貸出用)の運行
(図書館から遠い地域、幼稚園、保育園)

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

ⒸICTなどの設備の整備

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖイベントスペースなどの充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

次世代の子どもたちが利用しやすい図書館を目指していきたい。
勉強やコミュニケーションの場としての活用を考えたい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

コミュニティの場であり、みんなが利用してもらえるようなものにしたい。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

自然の中でゆったりと

キャッチフレーズに込めた思い

常滑の高台、窓から見える景色を満喫しながらゆったりと過ごせる空間をイメージしています。

とこなめ市民図書館 / Tokoname Civic Library

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

・元県立常滑高校敷地

県の協力を仰ぎながら、愛知県・観光客も含めた、集いと文化的な拠点として常滑の中心地に新設として創ることができれば図書館が常滑の象徴の一つとして、長い間貢献できると思います。

理由

- ・元々旧常滑高校跡地は、文化芸術に役立ててほしいと願う住民の寄付によって得た土地でもあると聞いています。
- ・その人たちの思いを受け継ぐには、図書館を含めた文化施設の集合体が適しています。
- ・図書館と周辺の他の文化施設と集合させることで、最大の効果を狙える。
- ・2025年に元常滑高校敷地に決定された/美術品等共同収蔵庫候補地/愛知県が、この文化施設の集合体を後押しできる。
- ・I N A X ライブミュージアムが常滑の象徴としてふさわしいので、隣接施設として最適である。
- ・窯業や醸造業といった地場産業を活かした産業観光の促進にもつながる。
- ・高さもあり津波災害に強い土地であるので、適している。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館より倍以上の大きな施設であってほしい。

WSでも多くの方たちが話していた、居心地の良い場所を実現するにはすべての年代が落ち着いて過ごせる場所である必要があり、旧本館当時の図書館のあり方とは現代は変わってきてるので、少なくとも小牧図書館のような4階建てとはいいかないか考慮したつくりを希望します。

また、地域の情報が集まり、それによって人々が集い、課題を共有する場所でもあってほしいので現代の全国の公共施設の在り方を踏まえて、公民館の役割を担う集まる場所も必要だと考えます。

既存の3施設をどうする

3施設ともそれぞれの地域には必要。

特に南北に広い常滑市には 北に青海、南に南陵と公民館を兼ねた図書館が今後も必ず必要になります。

こども図書室は、新設の図書館との役割を考えて・移設も含めて検討する必要があると思います。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・常滑の文化・教育を支えるための蔵書数
- ・本の専門家である司書と職員の質を高める体制
- ・ＩＣＴを活用した職員の負担軽減による、本来の図書館としての運営・企画を継続的に進められる機能である事
- ・常滑の情報の集約地として、地域の貴重な資料を閲覧できるようにまた、企画展として市民に常滑のことを知つてもらう機会となる常設展などの機能
- ・人々が地域の課題に触れ、向き合える機会を作ること（コミュニティスペースでの勉強会・イベント）
- ・地域住民すべての年代にとって居心地の良い場所であること（パーソナルスペース、個人学習スペース）
- ・今回推薦する、ＩＮＡＸライブミュージアム周辺の旧常滑高校跡地に建設する美術品収蔵庫を含めた、常滑市に合った外観・景観であること
- ・観光客にも広く居心地の良い空間の演出があること
- ・図書館を学校図書館をつなげる、連携ができる体制（住民・ボランティアも含めた体制）

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆

ⒸＩＣＴなどの設備の整備

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓖイベントスペースなどの充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

Ⓐシンボリックで立派な建物

「どんな機能」でも記載しましたが、周りの景観にあった外観であれば、他の文化施設と合わせれば、そこまで図書館だけで外観に力を入れなくても、シンボリックな建物に見えるのでは、常滑焼きのタイルの外観を一部でも検討していただきたいです。

Ⓑ快適な読書・居場所空間 は、WSでも重要な最重要ととらえています。

ⒸＩＣＴなどの設備の整備 は、図書館運営・企画に力を入れるために、最低限必要だと思います。

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス は、地域の情報・コミュニティスペースが市民の

集まる場所になると思います。

④図書資料の充実 本来の図書館のあり方で、資料の充実は、重要な1つです。

⑤青海・南陵・こども図書室の充実 南北に広い常滑市にとって、青海・南陵は今後も運営が必要な重要な拠点です。

⑥学校図書館や保育園との連携 は、子供たちが図書に触れる機会や、地域に关心を持つもらえるチャンスです。

⑦カフェや飲食スペースの充実 図書館内で、飲食・雑談ができる環境を整え、カフェ等は周辺施設で補う方法もあります。

⑧学習室など勉強できる場所の充実 安城や小牧と同じような学習室ではなく、好きな場所で勉強・生涯学習ができる環境がいいと思いました。

⑨イベントスペースなどの充実 イベントのスペース 大きさの問題より、いくつかのイベントを並行して行える環境や常滑高校跡地の周辺施設と合わせて考えるのもいいと思いました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

第4回WSと同じテーマの、メンバーの方とも話をしましたが以下内容を検討してほしいです。

①地理的条件を視野に入れ、サービスの公平さを重視する。

②地域にある小中高の学校図書を地域に開放し利用できるようにする。

③要請があれば出前図書館を各区の公民館・養護施設などにサポートする
そのための司書職員の育成を充実する。

こちらは私の意見です。

④今後の段階で再度、ワークショップを開催してほしい。

基本構想策定委員会がまとめた内容から図書館の具体的な内容が決まっていくと思いますが実際に設計会社・建設会社・市役所等が図書館の間取りや様々な機能を検討する場に小牧図書館建設時にも開催されました。常滑市民が図書館を自分たちで運営する気概を持てるために、ワークショップを再び開催することが必ず必要なことだと考えます。

またそれにより、ワークショップの参加者から図書館運営をサポートできる団体が増えていくと考えます。

長い間活躍できる常滑の新しい図書館を市民と一緒に作っていくためにも、取り組む必要があると考えました。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

とこなめ市民図書館 / Tokoname Civic Library

キャッチフレーズに込めた思い

- ・とこなめをひらがなにすることでやわらかい印象を持ってもらう。
- ・市民とすることで、市民が当事者としてぎわいつくる拠点となる。
- ・観光客も集客する場合英語表記（他の言語）も、検討してほしいです。
- ・旧常滑高校跡地で新設するのであれば、よりシンボリックな名前を公募してほしい。

焼きお結びLibrary

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

難しいかもしれないが、Aグループでも出ていた市体育館付近は良いと思いました。

理由

1番は財政面を考えたいので、もし新しく作るのであれば、テナントを探して入るか、青海や南陵のリノベーションが良いと思いました。水害面を考えると、市有地や駅近には相応しい所が無かったから。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

新しく図書館は整備しない。
または、江南市くらいの規模。

既存の3施設をどうする

青海と南陵は常滑市の形狀的にあった方がいいと思う。
こども図書室は、もし新館が中心部近くにできたら、車持ちのお子さん連れのご家族はそちらに人が流れていきそうなので、廃止する。
その分、青海と南陵の図書資料の充実や、お子さんが本を楽しめる空間を作る。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

正直なところ、カフェは色々と課題が出てくると思うので、あまり賛成ではありませんが、飲食できるスペースがあると良いと思います。カフェまでではなく、「stand(スタンド)」のような飲み物、軽食を手渡しする様な形があれば（キッチンカーなども）、小腹空いた時は気軽に利用できそう。

時代的に、これからも自動化が進んでいくと思うので、自動貸出・返却機はマストであった方が利用者が増えると思う。スタッフさんの業務量を軽減した分、サービスや企画運営に力を入れて欲しいです！

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

第一に図書館ではあるので、『快適に本を読める空間』は最低限必要。立派な建物ももちろんあつたら集客になるけれど、誰もが通りやすい温かい雰囲気があれば、自然と人は集まってくれると思います。

空間だけではもちろん飽きてしまうので、図書館サービス面や資料の充実も必要です。それに加えて、現代のＩＣＴ技術も取り入れたら、スタッフの方々が力を入れていける面も、変わってくると思いました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

①企画やアイディア

- ・SNS運営
- ・出張図書ワークショップ
- ・イベント 本と○○○

例: 本とアート、本と音楽と焼物

本だけじゃなく何かを組み合わせて、他の事に興味ある方も来てくれるきっかけ作り。本を読むだけの図書館じゃなくて、イベントはもちろん、観光などのきっかけで図書館に行って見る事も大切だと思いました。

②財政面

Eグループでも意見が出てたと思いますが、クラウドファンディングや、企業からの寄付。ボランティアの方々と協力の市民参加型。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

焼きお結びLibrary

キャッチフレーズに込めた思い

常滑といえば、招き猫の焼き物が街に沢山あります。人を招いて、そこからさらに輪が広がれば良いな、人と人を繋ぐ場所で合ってほしいなという願いから、おむすびにしました。

また、常滑焼が有名なので、おむすびを焼きました。

でも、しっかりおむすびの具は入っていて、具は人それぞれ好みが違うので、何でも良いんです。

みんなに愛される素敵な図書館になりますように。

古き良き街 常滑図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- ①事務局から紹介もあった、市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築にするのが良い。
- ②古民家を探してリノベーションのような形でつくることはできないのか。
- ③またこれから、保育園が閉園するところを建物ごと利用したり、建物を崩してその跡地を利用することはできないのか。

理由

- ①駅からも近く、交通の便が良い。また近くにイオンなどもあり、ついでに寄れる感じも使いやすいかと考えるから。
- ②新築の建設費だけに予算がとられてしまうと、中の設備が物足りなくなると利用しにくくなるから。
- ③建設場所を探す手間が省けて、良いのではと考えるから。また建物も利用できれば建設費が削れるのではと考えるから。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

本が置いてある場所は旧図書館より小さくても良い。プラスで、フリースペースやカフェスペースなどを作った規模が良い。

既存の3施設をどうする

青海と南陵は規模を小さくするか、図書スペースを減らし、フリースペースにする。変わりに新設したところに図書を集約する。子ども図書館は残し、利用状況の様子を見る。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

図書スペースはそこまで大きくなくてもフリースペースや、小さい子が遊べるスペースや、小中学生が友達と集まれるような場所があると良い。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓚ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

自分は、図書の借りやすさよりは、快適に過ごせる空間づくりに重点をおいてほしいと思った。図書を借りるにあたっては、人と人が関わって借りる、今までの方法でも無理はないのかと思う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

観光地化にすることによって、話題性、財源の確保、利用者が増えるなどの利点に繋がっていくのではと考える。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

古き良き街 常滑図書館

キャッチフレーズに込めた思い

無理に豪華なものを建設するのではなく、散歩道とリンクするような、常滑ならばではの雰囲気の良い図書館ができると良いと思う。

知識の海に出かけよう

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

市有地③（旧常滑市民病院跡地）に新築するのがよい

理由

液状化のリスクが低い

常滑駅から徒歩で行ける距離（アクセスしやすい）

土地が低いのが気になるが、土台を上げるなどして対応できるのではないか

面積があるので駐車場を多く確保できる（車でのアクセスは多いと思われる）

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市位の規模がよい（旧図書館よりは大きい）

既存の3施設をどうする

こども図書室は廃止し、青海・南陵は分散移転前の規模に戻し存続する（地域格差をなくすため）

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・ I Cタグの導入（出来る範囲で）
- ・ 自習室がある（中高生の勉強する場がないので。若い人が集まるきっかけにもなる）
- ・ 自習室を利用する中高生がお弁当を食べれるスペース（自習室、図書室とは別の独立した部屋、またはロビー）
- ・ 閲覧するスペース（清潔感を保ちサスティナブルな図書館を目指すために、ソファ等より交換がしやすく、手入れが楽なシンプルな作りのイス・テーブルで）
- ・ 靴を脱いで上がる絵本スペース（旧図書館にあったスペース位。広すぎない。広いと走りたくなってしまうので。あと逆に大きすぎないほうが隠れ家的で魅力的）

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓒ I C Tなどの設備の整備

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★★★★★★★★

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★★★★★★★★★★

Ⓗイベントスペースなどの充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

- ・ 建物より中の充実を求める（凝れるのであれば、常滑らしい建物にしたいが…）
- ・ 本質である図書資料を充実させたり、見やすい閲覧できる場所を提供できることが大切だと思う
- ・ 機能分担をして、大きなイベントをする場合などはトコタンホール等を使い、ワークショップなどの小さなイベント用に図書館に会議室等があるとよいと思う（イベントスペースの充実度を下げた理由）
- ・ 中高生の勉強できる場所を提供したい（若い人が集まる）（利用者が増える）
- ・ I C Tなどの設備においては「利用者」としてはそこまで利用頻度が高くないと見込み重要度を多少低めにした（予約本受け取りコーナー、自動貸し出し機など）（ただし「図書館職員」側から見るならもっと高くなると思う）

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

図書館としてはイベントなどいろいろしていると思うが、個人的には最近は事前にあまり知らなかつた（実際図書館に行ってイベント情報を見たり、そこでチラシを見て知つた）。今のような図書館に対する市民の興味を持続させることがイベントなどの周知に大切だと思う。

イベントに参加するだけでなく、企画から携われるようなものがあるといいのではないかと思う。（市民参加）

司書資格、司書教諭資格を持っているので、学校図書館などに協力できるかも。またそういう資格を持っている人もいると思うので、協力を募って学校図書館の運営を手伝つてもらえば、学校図書館などがもっと活用できるのではないかと思う。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

知識の海に出かけよう

キャッチフレーズに込めた思い

豊かな図書資料がある場所としてと、常滑の豊かな海をイメージして考えました。多くの人に利用してもらい、本から豊かな実りを得てほしいなと思います。

土の図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

なるべく市街地かつ市有地いいと思います。新築、テナント入居などは問わずコストが安いほうを優先すべきだと思います。文化会館や公民館、児童館などを複合化させて作るのがいいのではないかと思います。

また、青海や南陵の2階を図書館スペースとして広げるか、青海や南陵にプレハブみたいのを立てて今現在の図書室を拡張することが可能ならば、選択肢の一つにはなるかもしないと思いました。

理由

市街地がいいと思ったのは、まず人が集まりやすいということです。結局人が集まってこそ存在意義があるのでこれはマストになるかと思いました。市有地がいいと思ったのは、コストが安く抑えられ、負担が少ないからです。同じような理由で県有地などでもいいと思いました。

新築、テナント入居など図書館の形については正直なんでもいいと思います。そこにこだわる人はあまりいないのではないかと思います。なのでコストが安い選択肢を選ぶべきだと思います。文化会館や公民館、児童館その他を複合化させるのは、単純にコストを抑えるという意味合いもありますが、複合化によって相乗効果を発揮できる可能性があると思ったからです。

青海、南陵の案はコストが安そうだと思ったからです。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

仮に複合化ができるのであれば、会議室や自習室などを共有できるので、旧本館よりも小さくてもいいかと思いました。

複合化ができない、単独で作ることになったとしても常滑市の財政状況が厳しいのと人口が減っていくのを考えれば旧本館よりも大きな図書館は必要ないと思います。

また、新たな図書館を作るときにあまりにも土地取得にコストがかかるのであれば断念するという選択肢も全然ありかと思いました。

そうなった場合は既存の施設にちょっとしたスペースをとって図書館機能を付随させるか、そもそも全く整備しないという選択肢もありだと思います。

既存の3施設をどうする

本館を常滑地区に作るのであればこども図書館を廃止してもいいとは思いますが、青海、南陵は残すべきだと思います。なぜかというと、ある程度の図書館機能の地域分散は必要だと考えているからです。例えば、単にコストを抑えつつ立派な図書館を作るのであれば県ごとに1個だけ設置してもいいわけですが、手軽に行けるということが支持されて各地にたくさん図書館が作られてきたわけです。

なので常滑地区から遠い青海、南陵の施設に対する需要は本館（常滑地区と想定）では、その地理的要因によって十分に代替されないと思います。

ただ、僕の印象では青海は自習室として夏休みなど使っている方たちが多いイメージだったのでそれらの需要をほかの施設で対応できるのであれば、廃止、縮小はやっていくべきだと思います。

正直言って、こども図書室についてはあまり行ったこともないし、市からも利用者のデータをもらっていないのでよくわかりませんが、多分、子ども図書館は市役所の人と、飛香台近辺の人が予約受け取りに使っているだけのような気がしていて、そうだとすると本館が近くにできるのであればいいのかなと思いました。

全体的に、青海、南陵、子ども図書館は本館に全部移転させたとするとランニングコストがどれくらい削減できるのか、などといった情報が知らないのであまり詳しいことは言えないですが、多分僕以外にも知らない人がたくさんいると思います。また、3施設を廃止したら本館にちゃんと来るのかといったことは利用者次第なわけなので、実際に各施設でアンケートをやってみればいいのではないかと思います。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

ちょっとした中庭みたいなのがあると子供が来やすくなつていいのかなと思いました。それ以外は今まで通りで問題ないと思います。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

星の数を考えるにあたって図書館の役割を考えました。立派な建物は人を呼び込む材料にはなるのかもしれません、利用者の満足度にはあまり大きな影響は与えないと考えました。

快適な読書空間は現代の図書館に求められる役割だと思います。どのような人でも満足度が得られる図書館にするには快適な図書空間がなによりも重要だと思いました。

I C Tは利用者の促進につながる可能性もありますが、負担が大きいのと電子書籍などは著作権の問題あまり有効活用できなさそうなので3にしました。

展示やイベントなど図書館サービスは、有効活用できればいいですが今の日本ではあまり活用できないところが多い印象なのでそこまで費用をかける必要はないと考えます。

図書資料の充実は図書館の一番の役割といつても過言ではないのかなと思います。なので8です。

青海、南陵、子供図書室の連携については、ある程度の連携をしないと青海、南陵、子供図書室に人が来なくなってしまい、存在意義がなくなってしまうと思います。ただ、逆に言えば今まで通りで問題ないのかなと思い、3にしました。

学校図書館や保育園の連携については当事者ではないのでよくわからない部分が多いですが、今まで通りでいいと思い2にしました。

カフェや飲食スペースの充実については、利用者の満足度の向上につながるかもしれません、それが図書館の役割なのかというと少し違うと思いました。それはどちらかというと、本屋なのではないかと思います。なので、3にしました。

学習室など勉強できる場所の充実は大事だと思います。図書館を利用する人のなかの結構な割合が勉強をしに来ている印象が私の中ではあります。また、図書館で勉強をしてわからないことがあったら、調べるといったこともできるので勉強するスペースを充実させるのは間違いなく利用者を増やすことになると思います。なので6にしました。

イベントスペースについては①と似ていてあまり有効活用できているところが少ないので、3にしました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

今までの図書館とは違い、双方向の要素を入れた機能があるといいと思います。例えば、本の最後に感想を書く欄を作つて、前の人があの視点で本を読んだのか、本（小説）についての解説など図書館でしか得られない機能があるといいと思いました。

また、本が好きな人が図書館のボランティアなどになって運営に関われる仕組みなども面白そうだなと思いました。また、自分の読んだ本を分析してお勧めの本を提案してもらえるサービスもいいのかなと思いました。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

土の図書館

キャッチフレーズに込めた思い

自分よりも前にその本を読んだ人の感想や、作者の思い、その本を購入した選定者（リクエスト者）などの思いが土のように積み重なって、その過程を見て、考えを深めたり楽しんだりできたら図書館として最高だと思ったからです。また、常滑は粘土質の土が取れることがきっかけで常滑焼が発展したので常滑の特徴を考えたときにこのキャッチフレーズを思い浮かべました。また、土は水平方向にも無限といつていいほど繋がっているので、その本をきっかけに違う本に出会い、また新たな本を通じて学びを得る、という横のつながり、新たながたくさんの人々に読まれ、年月が高まるほどその本の深みが増す、縦のつながり、また本を読んで土壤を育て、いい作物を回収するという未来のつながりという思いを込めています。（こじつけで考えました）

居場所としての図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

常滑市民文化会館を改修＋減築＋新築棟の増築により、常滑市の図書館本館として整備できないか？

その際に文化会館と商工会議所の間の駐車場を図書館の駐車場にできるとなお良いと思われる。ここは市有地ではないか？

理由

常滑市民文化会館は、新市役所建築時には取り壊しの話も出たほどだが、ホール機能は立派なもので、ハレの舞台としては優れたものがあるかと思われる。ル・コルビュジエの弟子にあたる坂倉準三事務所設計の優れた建築でもあるが、今は市民の利用も限られていって、そのポテンシャルを持て余している印象がある。

ただこの建築の中庭空間はとても気持ちが良く市民の憩いの場としてポテンシャルが高いと思われる。

この建築の大きな気積を全館空調にするとランニングコストがかなりかかりそうだが、廊下やロビーなどをなるべく外気に開放するような空間にして、ランニングコストを抑えるとともに、季節の良い時は半屋外の気持ちの良い読書スペースとして、厳しい季節には閉じることもできるようにして、外気との断熱的な緩衝スペースとしても機能させることができるだろう。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

上記の文化会館にすこし増築する程度。

既存の3施設をどうする

今までのよう既存の3施設を分館として維持するが、本館にも言えることだが、一部の空間を民間の事業者に貸すことで収益と集客と活性化をねらい、市民ボランティアなどの活動も充実させて、公共の負担を軽減させながら場所を活性化させる。

民間の事業者は飲食店（カフェ）と、小さい物販（農作物などの小売り）などか。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

イベントなどができる余剰スペース、閉じた空間ではなく、ふだんはホールやラウンジに使っている場所がイベントスペースにもなるような。

半屋外の読書スペース。空調による負担を減らしながら気持ちの良い空間を作る。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓘ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

イベントの充実や民間のテナント（カフェ）を充実させることが重要ではないだろうか？事業者の選定には有識者（図書館ワークショップでファシリテーターで入っていた事業者のような）や市民なども入れて選定できると良い。居心地が良い空間や勉強しやすい空間だったりすることが重要なのは当然かと思う。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

谷川徹三、谷川俊太郎の部屋などそれを目的に全国から集客できるようなしきけがあると良さそう。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

居場所としての図書館

キャッチフレーズに込めた思い

本を借りるだけの機能に特化しない、別の居方、滞在の仕方ができる図書館

本は ともだち 本は 心の 食べ物 本の 世界に 遊ぼう

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

- ① 広い土地を確保できることが、最優先。
- ② 高台に建設すること。
- ③ 交通の便利さは大切な条件だが、今、大切な条件ではない。あとづけで便利対応の工夫・変化が、いくらでもできる条件である。
- ④ テナント入居・同居は、大反対！
立地も含めて、「The図書館」でありたい。

理由

- ① 今は、財政が困難だからとか、既存の市有地なら即座に建てられる等々で、狭い土地に急ぎ建設して、後世に施設内容を増やしたいと思っても可能にならず、後悔することになる。まず、後世になって要望にも応えられる条件の最優先は、「広い敷地の確保」にある。
 - ② 「南海トラフ地震」の確率は「30年以内『60～90パーセント以上』」とか。貴重な紙資料財産が災害に遭ったら、元には戻せない。大損失では済まされない。
 - ③ グルーンを追加走行したり、私バス・私鉄道に協力を求めることができる。
 - ④ 短期間で開館でき、建設費用も抑えられ、施設併用・共同・管理もテナントである相手との交渉で、縮・減少できる。しかし、テナント施設が撤退するリスクや、テナントの都合によっては、開館日時の制限が生じる。
- 後世にあっても、「良くも考慮された図書館である。」と憧れられる図書館でありたい。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

- 江南市や小牧市の規模があれば良い。

既存の3施設をどうする

- 既存の「青海と南陵」は、現状のまま残すのも良いが、管理・人件費等々を考えると、その費用を新図書館に入れ込みたいので、分散移転前の規模に戻すのが良いと考える。
- 「こども図書室」は、現状をみても、環境・雰囲気づくり等々に魅力を感じない。新図書館に吸収されるのが良いと考える。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- I Tの機能・設備
- 利用時間の制限のない工夫
- 館の内外に楽しめ、憩える空間・場づくり
(庭園・広場 等々)

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸI C Tなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

- 基本的な考え方として、新設図書館を、「常滑市を内外に自慢・アピールできる常滑市の『要』となる存在」にしたい。
- 利用者の希望によって、あとから増減できる条件のものは、少数の★にした。
- 「図書資料の充実」は、あとから増減できるものであるが、「図書資料充実」がなければ、利用者は「二度と行きたくない図書館」となり得る。「図書資料の充実」こそ、「図書館」の最大の目的である。
- 環境を充実させた、居心地の良い、いつでも行きたい図書館、何度も行った図書館、生き方の助けになる図書館でありたい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

- 財政の限度を理由に、小規模な夢も喜びもない図書館を建設してほしくはない。
後世の市民が「良くもこれだけのことを、思い切ってやり遂げたものだ！」と、感動し、有り難く思い、誇りに思える図書館の建設を望む。
夢を語るのではない。希望ある喜びを感じる図書館建設でありたい。
今や、クラウドファンディングの時代である。会社・商業関係等々を含め、市内外への協力を熱弁しながら、それに応えが得られれば、財政の工面もある程度増額できよう。
- 市民が希望する読み聞かせの場の充実、小牧市立図書館にあった、少年・少女たちが喜んで利用する「カプセル小部屋」「東屋」的な施設コーナーも設置すると、読書活動が充実する。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

- 本はともだち
- 本は心の食べ物
- 本の世界に遊ぼう

キャッチフレーズに込めた思い

一生涯、気楽に生き甲斐をもって、居心地よく通うのが、図書館であるから。

トコタンの秘密基地

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

時間やお金がかかるても、地盤のしっかりした安全な場所に新築する。

理由

紹介された市有地は、海岸近く、液状化の可能性が高い、住宅地で道が狭い、浸水予想地区等で、大地震や集中豪雨の際に危険だと判断した。

地盤のしっかりした土地、西知多道路利用者も使いやすい幹線道路沿いを希望。住宅地は住民とトラブルになりやすいので避ける。民間が出店（ガソリンスタンドやレストラン）を検討できる余地のある場所が望ましい。

旧市民病院跡地は汚染があるので民間への販売が難しく、市で利用するのが現実的。とは言え、汚染の事で何らかの団体が建設反対を言い始めると業腹。今回こそは確実に、絶対に、どうしても、図書館を建ててほしいので、旧市民病院跡地は除外した。

土地を取得するか、大曾公園の市有地が使えるまで待つべきかは迷う。
大曾なら既に施設があり、市民も図書館の場所を覚えやすい。大曾公園の敷地内に図書館があれば、プールに入らない子供は図書館で自習もできる。大曾に立体駐車場が出来れば、スポーツ大会時の路上駐車を減らすことが出来る。また、試合中の急な雷雨でも、立体駐車場があれば全員が落雷から避難することが出来る。

大曾公園は常滑だが、半田、三河からの利用者増加も見込める。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館に青海、南稜、こどもを足した面積が必要。江南市の規模が現実的。

既存の3施設をどうする

青海、南稜は廃止し、新しい図書館に集約。
こども図書室は利用状況をみながら継続。

分館廃止の代わりに、無人のサービスポイントを設置。予約本の受け取りと返却が出来るように整備する。あわせて市内全小学校を2週間毎、移動図書館で巡回し、地域住民が徒歩で利用できるように配慮する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

◎読書バリアフリー

- ・読書バリアフリー対応で、目の悪い利用者が使う、A I 搭載視覚支援デバイスの導入。あわせて、ガラス扉の防音読書室も設置希望。デバイスは他県で導入されているらしいが、他に良い機材があれば、そちらを検討してほしい。

◎インターネット環境、視聴覚資料など

- ・ケーブルテレビに入っていない利用者も、ニュースC C N Cや防災チャンネルが見えるようにする。
- ・小学生がタブレットから市立図書館の本を予約出来るよう、図書館見学時に指導する。
- ・W E B予約や貸出期間延長のやり方について、カラーで手順を掲示する。希望者が多ければ、“図書館使いこなし講座”も検討してほしい。
- ・学習系D V Dや児童書を原作とする映画D V Dを入れ、館内で視聴できるようにする。小学生が1人でも窓口で利用手続きが簡単に出来るようにする。
- ・常滑を舞台とした映画や、常滑がロケ地の映画のD V Dと本を両方揃える。専用の棚を作る。
- ・D V D視聴室にはスマホやタブレットと連動できるテレビを置く。

◎立体駐車場

- ・市役所の立体駐車場が使いやすいので、同じ使用感の駐車場が欲しい。立体駐車場なら、雨の日は濡れずに、厳しい日差しの日でも車内が高温にならずに、安心して利用できる。

◎カフェ

可能なら、昼食がとれるスガキヤのラーメン店に入ってほしい。もしくはラーメン無しのテイクアウト専門店「スーちゃんのSweet Cafe」でもいい。

◎学習室

休館日でも学習室は使えると助かる。
一人ひとり区切った机が、集中できそう。

◎休館日を減らす

学校の代休は大体月曜なので、いつも困っていた。市内の中学校の代休にあわせて、開館してほしい。

◎感謝の心

壁には視察でお世話になった図書館名を記入。寄付者の名前と並べておく。（そして、各市の広報に載せてもらう←大切）
当たり前だと思わずに、図書館を支えてくれている職員さん達にも、ルールを守ってくれる利用者さんにも、感謝する気持ちをもつ。入口に「ありがとう」とトコタンのイラスト入りで書く。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- ⓪イベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

- Ⓐお金がないので、“立派な”建物はムリ。
まずは雨漏りしない、普通の図書館。
- Ⓑ一日図書館にいることが出来る、座る場所が必要。マイクッションの持ち込みが出来るなら、焼き物のベンチでも平気。もちろん、座り心地のよいソファーがあれば嬉しいが、お金もかかりそう。ソファーはどこかの企業からの寄付を待ってもいい。
- Ⓒ自動貸し出しを導入するには必要。
スーパーでもセルフレジを導入したりして、人手不足への対応を進めている。これから図書館には、情報通信技術が必要だと思う。
- Ⓓワクワクする小学生用イベントを増やす。
通年のイベントを取り入れ、常に何かしらのイベントを体験できるようにする。
毎月、新しい講座やイベントを企画する。市民から講座の企画を募集する。
図書館使いこなし講座を実施するとともに、カラーで手順を掲示する。
- Ⓔ他の図書館の話を聞き、図書予算が少なすぎると感じた。古い本しか無かったら、利用者は増えない。本棚も沢山準備して欲しい。本がキツキツに入っていると、出しにくいし、閉架だと借りる機会はほぼ無いので。出来るだけ多くの本を、表に並べておいて欲しい。
小学校高学年から青少年向けの本を、リクエストをとりながら、揃えていって下さい。
お小遣いの少ない学生のうちに、本を沢山読めるのは、やはり、図書館があるおかげなので。
- Ⓕ新しい図書館が出来たら、分館を無くす意見なので。図書資料が本館、分館に分散しているのは、調べ物をするにしても本を借りるにしても、使いにくい。
- Ⓖ読書は学力の基本。未就学児から小学生には本を読む習慣をつけてほしい。タブレットでの動画視聴ばかりなのは良くない。
- ⓪最低でも、フタのある飲み物は持ち込みOKにしてほしい。
- ⓪中高生の勉強できる場所があると、図書館利用者も増えるはず。
閲覧席をとられて困ったことがあったが、学習室、多目的室を作ってもらえれば、喧嘩

もしなくて良い。安城市みたいな、こどもグループ学習室も予算があれば欲しい。

②合計40になるようにしていったら、割り振るポイントが無くなってしまいました。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

●図書館と観光地

観光関係の予算を回してもらえるなら、観光の目玉になりそうな建て方をするのはアリ。

もしくは、常滑産の商品PRを兼ねて、宣伝広告費分割り引きしてもらえる等の利点があるとか。図書館としてメリットが見込めない場合は、観光に関して考えない。でも、せっかく図書館が話題（宣伝）になっているので、観光に関しては乗っかるべきだと思う。

空港が出来て西知多道路の開通も控え、常滑に来やすくなつた。常滑を通過地点ではなく、旅の目的地としてみてもらえる建物は必要。

空を飛ぶ飛行機と遠景に空港島。空港島に続く道路をゆく車列に電車、といった写真が屋上から撮れる立地なら最高。

あとは、図書館内複数箇所にトリックアート式のフォトスポットを設置する事で、図書館を観光目的地としてもう。（トコタン＆トコニヤンと記念撮影、巨大急須を支える、大きな土管から登場、巨大トイレに流される、みたいなトリックアート式のフォトスポット）

建物について（お金があるなら）、土壁やレンガ等、これぞ常滑焼き1000年の歴史の集大成と胸をはって誇れる施設となって欲しい気持ちはある。50年後に“歴史的建造物”として指定されるくらいの常滑の本気が見られると良い。（現在の常滑焼の最新建物技術がどうなっているのか、素人の私には分からないので、ザックリとしたイメージしか無い）トイレはINAX、ジャニス等の市内の業者を指定。常滑焼の歴史と、INAXライブミュージアムの紹介などをトイレ横に掲示する。常滑なのにINAX以外のトイレだったりすると観光客は「なんで？」と思う。

奇抜な外観や、邪魔なオブジェは不要。

旧市役所にあった焼き物の壁はすごかったけど、地震の時に怖い。お金もかかりそうで、常滑焼きを取り入れるなら、もっと実用的なものにしてほしい。開放感も無くて良い。

お金が無くて建物が小さくても、常滑の技術は凄いだろうと（壁の一部分だけでも）言えるものが出来れば良い。金欠でトコニヤンの後頭部が無い話は、既に全国に知れ渡っているので、金欠は今更。（もちろん、お金があるなら立派な図書館が欲しい！）

●移動図書館の導入

- ・移動図書館で市内小学校を巡回し、徒歩での利用が可能な状態にする。
- ・移動図書館で小学校を回ることで、小学生の利用者を増やす。小学校なら、子供だけでも利用しやすい。
- ・地域のお年寄りに声をかけて、移動図書館が来る日を集まるきっかけにしてもらう。お年寄りの安否確認、運動不足解消やボケ防止、世代を超えた交流が期待出来る。
- ・移動図書館巡回にあわせ、読みきかせをしたり、お手玉やメンコ、けん玉などの昔の遊び道具で自由に遊べるようにする。小学生と高齢者が一緒に、かるたやトランプ、ボードゲームで遊ぶ。
- ・小学校ごとの特色を活かしたイベントを自由に企画してもらうのも良いと思う。（小学校PTA発行、在校生限定のスタンプカードとか）
- ・移動図書館は、公用車に本棚と本を積み込んで運ぶ。（移動図書館専用車で、しかもヨシタケシンスケなんて、絶対にお金がかかる）

- ・学区内の6年生や中高生に、本を並べる手伝いをお願いする。（そして本を借りてもらう）
- ・移動図書館にあわせて、読みきかせを行う。
- ・移動図書館は中古の軽でも良いので、本棚と本を濡らさず持ち運べる車にする。
- ・移動図書館で回る小学校では、体育館や空き教室、渡り廊下等、屋根のある場所を使用する。
- ・本棚や本を並べたりするボランティアを募集する。ボランティアは移動先の小学校の父兄や、学区の中学生だと良い。（皆のために頑張っている姿を、小学生に見てほしい）

④新しい本を増やす

- ・読みたい本が無ければ、人は集まらない。本を買う予算を増やし、読みに来る人を増やす。特に、本を読む習慣をつけてもらいたい学生向けの本を増やす。学校図書館と被らない本が良い。
- ・蔵書購入用の募金箱を設置する。
- ・図書館に寄付してほしい本を具体的に（5年以内の発行、汚れが無い等）掲示する。同時に、寄付できない本についても周知する。寄付してくれた人数と本の題名を掲示する。
- ・雑誌は、焼き物関係以外は全部寄付制にし、雑誌購入費を、児童、青少年向けの本の購入にあてる。
- ・ドラえもん以外の漫画を置く。

⑤中高生の参加促進

- ・中高生向けのイベントがもっとあっても良いと思う。イベントや講座も友達同士で参加してもらう。
- ・市内の中高生に、参加したいイベントを聞いてみたい。
- ・中高生が友達と気軽に集まれる場所として図書館整備。そして“友達と図書館で待ち合わせ作戦”を実行。
- ・多目的室や学習室には、学生割引や市民優先予約をつける。小牧図書館のweb予約方式が良いと思う。
- ・中高生の図書館サポーターを募集する。“グループJ B P (Japanese black pine)”とか？卒業したら希望者には“さざんか”に入つてもらうことも検討。（サポーターのグループが多くなりすぎても大変？）
- ・テスト週間や受験シーズンにあわせて、閉館時も学習室が利用できると嬉しい。

⑥イベント

- ・謎解きチャレンジや、宝さがし等、館内を回ることで解けるゲームイベントを年数回（長期休みごととか）に行う。中高生のサポーターを募集し、企画してもらう。
- ・過去に評判の良かったイベントをする。

⑦読書通帳

- ・読書通帳の景品に、買い物割引券等を市内の商店から募集する。
- ・市民から、不要になった新品の文房具を景品として寄付してもらう。（予備で買った新品のノートとか）

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

トコタンの秘密基地

キャッチフレーズに込めた思い

・子供も大人も大好きな“秘密基地”

秘密基地ができたって聞いただけで、行きたくなるでしょ？

小学生には特に、図書館に来てほしい。見学した図書館の隠れ家みたいなスペース。きっとみんな気に入ると思う。

・お金が無くて小さい図書館になる前提なら、図書館をトコタンの秘密基地として整備しよう。

秘密基地なら実際に小さくても、小さく見えて奥が広いという設定もあり。

観光名所にもなると思うので、そちらからも予算を下さい。

・富津市の見学で、天井が低くても、工夫次第で明るい館内が実現できるのが分かった。天井を低くし、空間を小さくする事で建材費と空調費を下げる事が出来ると聞いたことがある。

(開放感を求める人には、外に出て美しい常滑の空をみてもらうことになります)

天井を低くし、天井と本棚との空間を狭くした上で、耐震転倒防止棒を最初から本棚に付ける。(本棚が倒れようとしても、天井が低くて引っかかるイメージ) 耐震転倒防止棒がネコ型なら嬉しい。

・秘密基地の子供用本棚は、迷路のようにも見える配置で。潜り込める土管大小、特大。

フロアの床や土管に座って本を読め、自分の椅子(スポーツ観戦用の折りたたみ椅子等)やクッションを持ち込んでもいい。(床には通路と区画をイラストや線を引いて区別しておく)

天井を低くするのにあわせ、表の入り口も少し小さめ、3分の2程度(秘密基地だから)にする。秘密基地として作り込むのは、正面だけで、写真に入らない裏側はそつけない外壁で作成。立体駐車場からの入り口は、通常サイズの出入口。

招かれて、めくる発見。

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

今回のワークショップを経て、図書館を整備する場所として自分が良いと考える場所は第3回の資料⑥で紹介された「市有地③（旧常滑市民病院跡地）」
又は、現在の市有地、所有の建物を利用する方がいいと考える。

理由

- ・場所・広さを考えると今回のワークショップで一番条件に合う場所のように思う。
- ・新たな土地購入は時間と費用がかかりすぎるため、リスクが高いと思う。早期実現のために、現在の市有地、又は所有の建物を利用する方がいいと考える。
- ・実現確実性が一番高い場所・方法を取ることが最も大切であると考えるため、今回のワークショップででてきたもの以外の新たな候補地や建物が出た場合も、条件が合うものは検討事項に入れていくべきと考える。
- ・ハザードマップをみると津波災害の可能性がある為、災害のリスクを考え、安全対策を計画し、整備していくことが重要であると考える。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？
また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

旧本館よりも大きい方がいい。

- ・今後の市の財政状況、資材高騰や、空間の利用方法の工夫の仕方次第であるところもあるため、一概に建物の規模や敷地の規模だけで決めることができない。しかし、ワークショップ内の意見を実現させる場合は、旧本館より規模が大きくなる可能性が高いと考える。

既存の3施設をどうする

青海と南陵は分散移転前の規模に戻し、こども図書室は廃止する。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・自動貸出機や予約本受け取りコーナーなどのＩＣＴ環境の整備
- ・自習室
- ・読み聞かせできる場所

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

- Ⓐシンボリックで立派な建物
- Ⓑ快適な読書・居場所空間
- ⒸＩＣＴなどの設備の整備
- Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス
- Ⓔ図書資料の充実
- Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実
- Ⓖ学校図書館や保育園との連携
- Ⓗカフェや飲食スペースの充実
- Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実
- Ⓛイベントスペースなどの充実



理由・考えたこと

- ・使いやすさや人が集まりやすい場所として常滑の魅力につながる施設になってほしいという思いでつけた。
- ・高齢者だけでなく、若い人にも積極的に活用してもらえる施設を建設してほしい。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

今後、紙の本の利用者はますます減っていくと考えられます。

しかし、貴重な資料や紙の本を保存する場所、学生が集中して学習できる場として、図書館は非常に重要な存在です。

このように、直接的な利益にはつながらない活動を支えられるのは行政ならではです。

私は、行政がより多くの人に利用しやすい図書館づくりを進める取り組みを心から応援しております、ＩＣＴの活用なども積極的に進められることを期待しています。

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

招かれて、めくる発見。

キャッチフレーズに込めた思い

常滑の生産量が多い招き猫と図書館で新たな本や知識とであって新しい世界に触れ、色々なことを学んでほしいという願いを込めて考えました。

ふと訪れたくなる図書館

質問① 新しい図書館は「どんな場所にどんな方法」で整備するのがよいか？

どんな場所にどんな方法で

時間がかかるても常滑駅より東に新しい図書館を新築するべきだと考える。

理由

市有地の多くは海岸沿いであるため。

質問② 新しい図書館は「どれくらいの規模」がよいか？

また「既存の3施設をどうする」とよいか？

どのくらいの規模

江南市位の規模が良いと考える。

既存の3施設をどうする

既存の3施設は継続するが図書館としては縮小して新しい図書館が軸になると良いと思う。既存の3施設は主に貸出・返却の役割で良いのではないか。こども図書室は新しい図書館に子ども向けエリアをつくれば良いと考えてるため、廃止しても良いと思う。

質問③ 新しい図書館に「どんな機能」があるとよいか？

どんな機能

- ・静かに落ち着いて本を読める。
- ・図書館司書や利用者のおすすめする本のトップアップ。
- ・2階建の想定で、1階は子ども向け、2階は大人向けフロアと利用者の住み分けができる。
- ・予約・貸出・返却まで利用者一人で完結できる省人化。

質問④ 新しい図書館を整備するにあたっては、「何にどれだけ力を入れる」のがよいか？

Ⓐシンボリックで立派な建物

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓑ快適な読書・居場所空間

★★★★★☆☆☆☆☆☆

ⒸＩＣＴなどの設備の整備

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓓ展示やイベントなど図書館サービス

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓔ図書資料の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓕ青海・南陵・こども図書室の充実

★★★★☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学校図書館や保育園との連携

★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓗカフェや飲食スペースの充実

★★☆☆☆☆☆☆☆☆

Ⓖ学習室など勉強できる場所の充実

★★★★★☆☆☆☆☆☆

Ⓖイベントスペースなどの充実

★★★★☆☆☆☆☆☆☆

理由・考えたこと

居心地の良さ、滞在型の図書館を重視するため。

質問⑤ その他の新しい図書館のあり方などについて

全世代が使いやすい図書館

質問⑥ 新しい図書館の「キャッチフレーズ」

新しい図書館の「キャッチフレーズ」

ふと訪れたくなる図書館

キャッチフレーズに込めた思い

本を借りる返す以外にも行きたくなる図書館であってほしいと考えるため。